

仕 様 書

品 名 無停電電源装置

型式名 BU75RW/BU100RW

BU200RW/BU300RW

品 名 増設バッテリーユニット

型式名 BUM100R/BUM300R

オムロンソーシャルソリューションズ株式会社

IoT ソリューション事業本部

品名 無停電電源装置 増設バッテリーユニット	型式 BU75RW/BU100RW BU200RW/BU300RW BUM100R (増設用バッテリーユニット) BUM300R (増設用バッテリーユニット)	
用途		
添付図面		
<p>特記事項</p> <p>■本製品は、日本国内専用品です。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本国外の電源には対応しておらず、日本国外での使用は故障、火災の原因となることがあります。また、日本国外の法規制には対応しておりません。 ・日本国外への輸出および日本国外での使用は、お客様の判断と責任の下で行われるものとし、弊社は一切の責任を負いません。 ・お客様の判断により本製品を輸出(個人による携行を含む)される場合は、外国為替及び外国貿易法に基づいて経済産業省の許可が必要となる場合があります。必要な許可を取得せずに輸出すると同法により罰せられます。 <p>■本仕様書の内容については、将来予告なしに変更することがあります。</p>		
<p>仕様書変更経歴</p> <p>仕様書の記載内容が変更された場合には、改正符号(アルファベット)を記入し、仕様書番号の末尾に改正符号と同じ符号をつけて処理しております。なお本仕様書の記載内容に影響を与えない範囲での変更を行うことがありますので、予めご了承下さい。</p>		
符号	年 月 日	改 正 内 容
A	2008・01・30	新規作成
B	2009・01・13	BU75RWを追加
C	2009・04・01	組織名称変更
D	2010・12・28	誤記訂正(P.6)
E	2012・04・17	誤記訂正(P.28)
F	2014・06・18	仕様書有効期間追記
G	2016・02・26	事業部名称変更、誤記修正(p6,29,30,39)、出力周波数精度変更(p8)
H	2018・10・23	BUM300Rの外形図誤記修正(p.38)
I	2018・12・10	特記事項の記載内容変更、CDROM 削除対応
J	2019・06・10	特記事項の記載内容変更、CE 表記削除、保証約款裁判管轄地変更

目次

本仕様書は、無停電電源装置BU75RW/BU100RW/BU200RW/BU300RWについて記載
しています。

(増設用バッテリーユニットBUM100R/BUM300Rの内容を含む)

1. 製品の用途.....	4
2. 使用制限.....	4
3. 機器の概要.....	5
4. 動作の概要.....	6
5. 仕様.....	7
6. 各部の名称.....	13
7. 表示/ブザー・運転動作および機能設定.....	15
8. 信号入出力.....	27
9. 設置方法.....	31
10. バックアップ時間.....	33
11. 回路ブロック図.....	34
12. 外形図.....	35
13. 付属品.....	39
14. 保証契約約款.....	41
15. 安全上のご注意.....	43
16. 自動シャットダウン機能.....	50
17. SNMP/WEB カード.....	54
18. バッテリーユニットの増設.....	55

1. 製品の用途

- 1) 本製品は、パソコンなどのFA、OA機器に使用することを目的に設計・製造されています。以下のような、極めて高い信頼性や安全性が要求される用途には使用しないでください。
 - ・人命に直接関わる医療用機器。
 - ・人身の損傷に至る可能性のある用途。(航空機、船舶、鉄道、エレベータなどの運行、運転、制御などに直接関連する用途。
 - ・車載、船舶など常に振動が加わる可能性がある用途。
 - ・故障すると社会的、公共的に重大な損害や影響を与える可能性のある用途。
(主要な電子計算機システム、幹線通信機器、公共の交通システムなど)
 - ・これらに準ずる機器。
- 2) 人の安全に関与し、また公共の機能維持に重大な影響を及ぼす装置などについては、システムの多重化、非常用発電設備など、運用維持、管理について特別な配慮が必要となります。
- 3) 特に信頼性の要求される重要なシステム等への使用に際しては、当社電子機器カスタマサポートセンタへご相談ください。
- 4) 本製品は、日本国内専用品です。
 - ・日本国外の電源には対応しておらず、日本国外での使用は故障、火災の原因となることがあります。また、日本国外の法規制には対応しておりません。
 - ・日本国外への輸出および日本国外での使用は、お客様の判断と責任の下で行われるものとし、弊社は一切の責任を負いません。
 - ・お客様の判断により本製品を輸出(個人による携行を含む)される場合は、外国為替及び外国貿易法に基づいて経済産業省の許可が必要となる場合があります。必要な許可を取得せずに輸出すると同法により罰せられます。・入力電源はAC100/110/115/120V(50/60Hz)を使用してください。
 - ・UL1778には適合しておりますが、その他の海外の安全規格や電磁波障害などの規格/規制には対応していません。

2. 使用制限

- 1) 高精度の入力周波数が要求される機器等では使用できません。
- 2) 耐電圧試験あるいは絶縁抵抗試験をされる場合は、背面の入力サージ保護のネジをはずして実施してください。ネジをはずすことでサージ保護素子のアース接続をはずすことができ安全に試験できます。使用時はネジを必ず締めてアースを接続してください。
- 3) 本仕様書に記載の使用条件、使用環境などを遵守してください。
- 4) 装置の改造・加工はおこなわないでください。
- 5) 本機をUL規格認定品としてご使用される場合は、運転状態(電源出力中)のバッテリー交換、ファン交換は行わないでください。運転状態でのバッテリー交換、ファン交換はUL規格に適合していません。必ず本機の運転を停止してバッテリー交換、ファン交換を行ってください。

3. 機器の概要

- ・本製品は、パソコンなどのFA、OA機器用として電源異常から機器を保護するための小型交流無停電電源装置で、高力率AC-DCコンバータ回路、インバータ回路、バッテリー、DC-DCコンバータ回路および充電回路より構成されています。
- ・本製品は常時インバータ給電方式を採用し、商用電源を直流に変換し、その直流電源でインバータ回路を運転して交流出力を供給します。
- ・入力定格電圧はAC100/110/115/120V、入力定格周波数は50/60Hzです。
- ・出力定格電圧はAC100/110/115/120Vです。
出力周波数は50/60Hzで、起動時に入力と同一周波数が自動選択されます。
- ・BU75RWの最大出力容量は750VA/600Wです。
BU100RWの最大出力容量は1000VA/800Wです。
BU200RWの最大出力容量は2000VA/1600Wです。
BU300RWの最大出力容量は3000VA/2400Wです。
- ・バッテリーによるバックアップ時間は
BU75RWは定格負荷(750VA/600W)にて、10分以上です。
BU100RWは定格負荷(1000VA/800W)にて、7分以上です。
BU200RWは定格負荷(2000VA/1600W)にて、7分以上です。
BU300RWは定格負荷(3000VA/2400W)にて、4分以上です。
(周囲温度20℃、バッテリー初期値)
- ・増設用バッテリーユニット(別売)を接続することによりバックアップ時間を延長可能です。
BU75RWは増設用バッテリーユニットBUM100Rを接続するとバックアップ時間は約44分まで延長可能です。
BU100RWは増設用バッテリーユニットBUM100Rを接続するとバックアップ時間は約30分まで延長可能です。
BU200RWは増設用バッテリーユニットBUM300Rを接続するとバックアップ時間は約30分まで延長可能です。
BU300RWは増設用バッテリーユニットBUM300Rを接続するとバックアップ時間は約18分まで延長可能です。
(周囲温度20℃、バッテリー初期値)
- ・自動切換えの直送バイパス出力を装備しており、オーバロード時、故障時に自動的に切替え、商用電源を継続して出力して接続機器の停止を防止します。
- ・出力電圧波形は正弦波出力であり、また電圧が常時インバータを経由し安定化して出力されるので、電源環境の悪い場所等での使用に効果的です。また、高力率コンバータ回路の採用により入力高調波抑制基準に適合しており他の電子機器にノイズなどの悪影響を与えません。
- ・バッテリーには長寿命タイプの小形制御弁式鉛蓄電池を採用しています。(20℃雰囲気における期待寿命は約5年) バッテリー自動テスト機能により定期的にバッテリーの劣化を判定しバッテリーの交換をLED表示とブザーにてお知らせします。
- ・通信インタフェースは、シリアル通信(RS232C、USB) / 接点信号入出力を標準装備しています。
(シリアル通信と接点信号は同時使用可能、RS232CとUSBの同時使用は不可)
- ・設置は、縦方向・横方向の2通りで使用可能です。
縦置き用にスタンドが付属されています。
- ・ユーザでのバッテリー交換が前面パネル側から可能です。
- ・製品に添付しているシリアルケーブルを用いて本機とパソコンを接続し、自動シャットダウンソフト「PowerAct Pro」と組み合わせてご使用いただくと、自動待避処理に加え、次の動作が実現できます。
 - (1) UPS本体の機能設定
 - (2) スケジュール運転(自動起動・自動停止)
 - (3) WWWブラウザソフトを使用してのローカル管理/リモート管理
 - (4) 本機の動作状態を監視・表示・記録

- (5) 複数台のパソコンのシャットダウン
- (6) 複数台の本機の管理

・オプション (別売品)

1. 交換用バッテリー(パック)	型式名 : BUB100R	(BU75RW/BU100RW 用、1 個必要)
	型式名 : BUB300R	(BU200RW/BU300RW 用、1 個必要)
2. 増設用バッテリーユニット	型式名 : BUM100R	(BU75RW/BU100RW 用)
	型式名 : BUM300R	(BU200RW/BU300RW 用)
3. 交換用ファン	型式名 : BUF100R	(BU75RW/BU100RW 背面用)
	型式名 : BUF300F	(BU200RW/BU300RW 前面用)
	型式名 : BUF300RF	(BU200RW/BU300RW 背面用)
4. SNMP/Web カード	型式名 : SC20G	
5. Windows UPS サービス用接続ケーブル	型式名 : BUC26	
6. Apple 社製 XserveRAID 用接続ケーブル	型式名 : BUC28	
7. RS232C シリアル延長ケーブル(4.5m)	型式名 : BUC17	
8. USB ケーブル(2.2m)	型式名 : BUC23	

4. 動作の概要

- 1) 商用電源を一度直流に変換し、その直流電源でインバータ回路を運転し、交流出力 (正弦波) を供給します。
- 2) バッテリーは充電回路により電源スイッチの ON/OFF にかかわらず常時充電されます。
- 3) 電源スイッチ ON により電源出力を開始し、電源スイッチ OFF により出力を停止します。
- 4) 停電あるいは入力電源異常時は、無瞬断でバッテリーからの給電に切り替り、交流出力 (正弦波) を供給します。
- 5) 停電、入力電源異常によるバッテリー運転で放電し電圧の低下したバッテリーは商用電源回復後に自動再充電され、次の停電に備えます。
- 6) バッテリーの完全放電あるいは自動シャットダウンで運転を停止した場合、商用電源回復後に本製品は自動的に再起動し電源出力を供給します。(自動再起動の禁止設定も可能です)
- 7) オーバロード時は自動的にバイパス回路へ 4msec 以内に切り替り、商用電源を接続機器に供給します。出力中にオーバロードが解除されるとインバータ運転に自動復帰します。
- 8) 内部回路故障時には、LED、ブザーにて警報します。また電源出力が自動的にバイパス回路側へ 4msec 以内に切り替り、商用電源を接続機器に供給します。
- 9) 定期的に行われるバッテリー自動テスト機能により、バッテリーの劣化を判定し、バッテリーの交換を LED 表示とブザーにて警報します。(本体操作部にある「設定スイッチ」を用いて、バッテリー自動テストを実施しないように設定することも可能です。)
- 10) バックアップ運転時、バッテリー交換時のブザー警報音を出さないように、本体操作部にある「設定スイッチ」を用いて、設定することができます。(その他の異常警報ブザー音を停止することはできません。)

5. 仕様

5-1. 方式

項目	仕様・機能	規格/備考
運転方式	常時インバータ給電方式	
冷却方式	強制空冷	

5-2. 交流入力

項目	仕様・機能	規格/備考
入力電圧範囲	75±4~143±4V (90%未満の負荷接続時) 85±4~143±4V (90%以上の負荷接続時)	
入力最大電流	BU75RW: 10A BU100RW: 12A BU200RW: 24A BU300RW: 35A	定格負荷、最大充電電流、 最小入力電圧時
周波数	50/60Hz±4Hz	
相数	単相2線 (アース付)	
入力過電流保護	BU75RW: 15A BU100RW: 15A BU200RW: 45A BU300RW: 45A	リセットボタンタイプ 過電流保護器 BU200RW/BU300RW はスイッチタイプ
AC 入力接続	BU75RW: AC コード直付け BU100RW: AC コード直付け BU200RW: 端子台接続 BU300RW: 端子台接続	
AC 入力プラグ形状	3P AC プラグ (アース付) BU75RW: NEMA 5-15P (15A)を装備 BU100RW: NEMA 5-15P (15A)を装備 BU200RW: 出荷時、NEMA 5-15P (15A)を装備 BU300RW: 出荷時、NEMA L5-30P (30A)を装備	
AC 入力コード	3P AC プラグコードを 本体 AC 入力端子台に接続済み	約3m

5-3. 交流出力

項目		仕様・機能	規格/備考
容量	出力定格容量 (VA / W)	BU75RW: 750VA /600W BU100RW: 1000VA /800W BU200RW: 2000VA /1600W BU300RW: 3000VA /2400W	VA/Wともに左記上限値を超えないこと。
電圧	出力電圧 (実効値)	100V mode AC100V±3% 110V mode AC110V±3% 115V mode AC115V±3% 120V mode AC120V±3%	
	ピーク電圧	商用運転時 100V mode AC141V±6% 110V mode AC156V±6% 115V mode AC163V±6% 120V mode AC170V±6% バックアップ 運転時 100V mode AC141V±6% 110V mode AC156V±9% 115V mode AC163V±13% 120V mode AC170V±17%	
周波数	商用運転時	入力周波数に同じ	起動時に自動設定
	バックアップ運転時	50/60Hz±1%	
出力波形		正弦波	
停電/復電切替え時間		無瞬断	
全高調波歪率		100V mode <6% 110V mode <6% 115V mode <6% 120V mode <6% ただし、バックアップ運転時の放電終止前 30秒以降では 115V mode <8% 120V mode <10	定格負荷接続時 (整流負荷)
相数		単相2線 (アース付)	
直送切替	接続容量オーバー検出	商用運転時 定格容量の110%以上: 10秒で直送切替 定格容量の130%以上: 200msで直送切替、 1分後に出力停止 定格容量の150%以上: 200msで直送切替、 10秒後に出力停止 バックアップ 運転時 定格容量の110%以上: 10秒で出力停止 定格容量の130%以上: 200msで出力停止	オートリトランスファ方式
	切替え時間	4msec 以内	内部温度異常、インバータ故障、内部電圧異常、ファン停止、接続容量オーバー時 制御回路異常・停止時
	オートリトランスファ機能	オーバーロード状態から定格容量以下に低減するとバイパスからインバータへ復帰	商用運転時のみ
短絡保護		出力垂下、入力過電流保護器	

5-3. 交流出力 (つづき)

項目	仕様・機能	規格/備考
出力コンセント形状	BU75RW: 15A 6個(NEMA 5-15R) BU100RW: 15A 6個(NEMA 5-15R) BU200RW: 20A 6個(NEMA 5-20R) BU300RW: 20A 6個(NEMA 5-20R)	出力コンセント制御機能付

5-4. バッテリ

項目	仕様・機能	規格/備考	
種類	小形制御弁式鉛蓄電池 (長寿命タイプ)		
電圧	BU75RW: DC36V (12V X3個) BU100RW: DC36V (12V X3個) BU200RW: DC72V (12V X6個) BU300RW: DC72V (12V X6個)		
容量/電圧×個数	BU75RW: 8Ah/12V X 3個 BU100RW: 8Ah/12V X 3個 BU200RW: 8Ah/12V X 6個 BU300RW: 8Ah/12V X 6個		
バックアップ時間	BU75RW: 10分以上 BU100RW: 7分以上 BU200RW: 7分以上 BU300RW: 4分以上	20°C、初期状態、定格負荷 接続時のバックアップ時間	
充電	充電時間	90%充電: 8時間 (増設時は24時間) 80%充電: 4時間 (増設時は12時間)	定格負荷にて放電後
	充電器動作	AC入力給電により充電	電源スイッチOFF状態でも 充電する
バッテリー交換	本体正面より交換可能 ※交換用バッテリー (別売) BU75RW用: 型式: BUB100R (1個必要) BU100RW用: 型式: BUB100R (1個必要) BU200RW用: 型式: BUB300R (1個必要) BU300RW用: 型式: BUB300R (1個必要)		
増設 バッテリ ユニット	商品型式	BU75RW用: BUM100R BU100RW用: BUM100R BU200RW用: BUM300R BU300RW用: BUM300R	
	種類	小形制御弁式鉛蓄電池 (長寿命タイプ)	
	電圧	BUM100R: DC36V (12V X3個) BUM300R: DC72V (12V X6個)	
	容量/電圧×個数	BUM100R: 8Ah/12V X 3個を2並列接続 BUM300R: 8Ah/12V X 6個を2並列接続	
	バックアップ時間	BU75RW+BUM100R: 44分以上 (参考値) BU100RW+BUM100R: 30分以上 (参考値) BU200RW+BUM300R: 30分以上 (参考値) BU300RW+BUM300R: 18分以上 (参考値) ※増設は1ユニットのみ可能	20°C、初期状態、定格負荷 接続時のバックアップ時間

5-5. インターフェース

項目		仕様・機能	規格/備考
表示	状態表示	7セグメント, 2桁表示	詳細は、7項を参照
	電源出力表示	緑LED 1個: 出力供給中	
	バイパス運転表示	黄LED 1個: 直送にて出力供給中	
	バッテリー交換表示	赤LED 1個: バッテリー劣化	
	バッテリー増設表示	緑LED 1個: 増設用バッテリーユニット接続中	
ブザー	1) 連続鳴動 2) 連続鳴動 3) 鳴動 1回/4秒 4) 鳴動 1回/2秒 5) 鳴動 1回/1秒 6) 鳴動 1回/0.5秒	表示器との組合せにより、下記の状態を音で表現 1) 故障 2) オーバロードにより停止 3) バックアップ中 4) バッテリー劣化 5) バッテリーロー 6) オーバロード中	詳細は、7項を参照
通信	方式	シリアル通信(RS-232C or USB) 接点信号入出力	シリアル通信と接点信号は同時使用可能 RS-232C と USB は同時使用不可

5-6. スイッチ

項目		仕様・機能	規格/備考
電源出力 スイッチ	位置	前面パネル操作部	オルタネートタイプ
	種類	ON/OFF 押しボタン方式	
	機能	・ 電源出力開始 ・ 電源出力停止	
ブザー/ テスト 停止	位置	前面パネル操作部	モーメンタリタイプ
	種類	押しボタン方式 (タクトスイッチ)	
	機能	・ ブザーの一時停止 ・ テスト動作の実行 ・ UPSの動作モード設定	
設定 スイッチ	位置	前面パネル操作部	詳細は、7項を参照
	種類	ディップスイッチ	
	機能	UPS の機能設定	

5-7. 環境

項目	仕様・機能	規格/備考
動作周囲温度	0°C~40°C	
動作周囲湿度	25%~85%RH (無結露)	
保管温度	-15°C~50°C (バッテリー満充電)	
保管湿度	10%~90%RH (無結露)	
保管可能期間	6ヶ月	バッテリー満充電
耐電圧	AC1500V 1分間	
絶縁抵抗	20MΩ以上	DC500V
漏れ電流	1mA以下	
雷サージ耐量	対地間 4kV / 線間 2kV	

5-8. 規格

項目	仕様・機能	規格/備考
安全規格 雑音端子電圧・放射妨害電界強度	UL1778取得 VCCI A種準拠	

5-9. その他

項目	仕様・機能	規格/備考
内部消費電力	(無負荷時) BU75RW: 通常 50W、 最大 100W BU100RW: 通常 50W、 最大 100W BU200RW: 通常 65W、 最大 170W BU300RW: 通常 65W、 最大 170W (定格負荷時) BU75RW: 通常 110W、 最大 170W BU100RW: 通常 120W、 最大 180W BU200RW: 通常 280W、 最大 390W BU300RW: 通常 410W、 最大 540W ※バッテリー増設時も最大値は同じ	
騒音	BU100RW: 50dB 以下 BU200RW/BU300RW: 56dB 以下	
外形寸法 [mm]	(本体) BU75RW: 幅 438×奥行 474×高さ 87 BU100RW: 幅 438×奥行 474×高さ 87 BU200RW: 幅 438×奥行 550×高さ 130 BU300RW: 幅 438×奥行 550×高さ 130 (増設バッテリーユニット) BUM100R: 幅 438×奥行 474×高さ 87 BUM300R: 幅 438×奥行 550×高さ 130 ※突起部含まず ※高さにはゴム足高さ(14.5mm)含まず	公差±1mm
質量	(本体) BU75RW : 約 20kg BU100RW : 約 20kg BU200RW : 約 33kg BU300RW : 約 33kg (増設バッテリーユニット) BUM100R : 約 26kg BUM300R : 約 42kg	
バッテリー寿命	期待寿命 5年 期待寿命 2.5年	周囲温度 20℃ 周囲温度 30℃

5-10. 梱包仕様

項目	仕様・機能	規格／備考
梱包箱外形寸法[mm]	(本体) BU75RW: 幅 540×奥行 640×高さ 218mm BU100RW: 幅 540×奥行 640×高さ 218mm BU200RW: 幅 580×奥行 766×高さ 250mm BU300RW: 幅 580×奥行 766×高さ 250mm (増設バッテリーユニット) BUM100R: 幅 540×奥行 640×高さ 218mm BUM300R: 幅 580×奥行 766×高さ 250mm	公差±5mm
梱包総質量	(本体) BU75RW : 約 25kg BU100RW : 約 25kg BU300RW : 約 38kg BU300RW : 約 38kg (増設バッテリーユニット) BUM100R : 約 31kg BUM300R : 約 48kg	

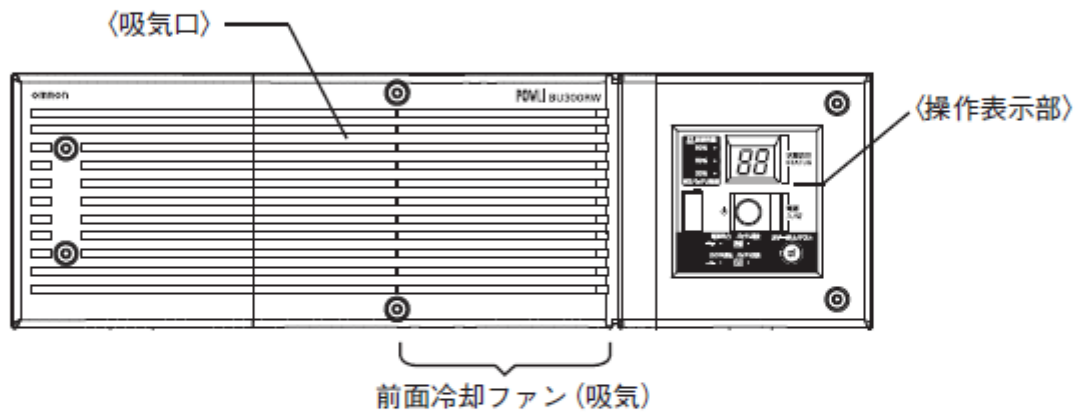
6. 各部の名称

● 前面

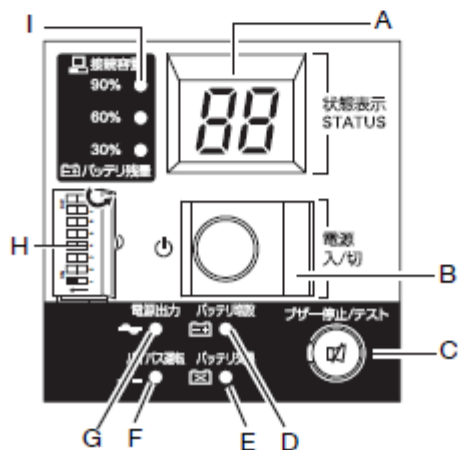
< BU75RW/BU100RW >



< BU200RW/BU300RW >



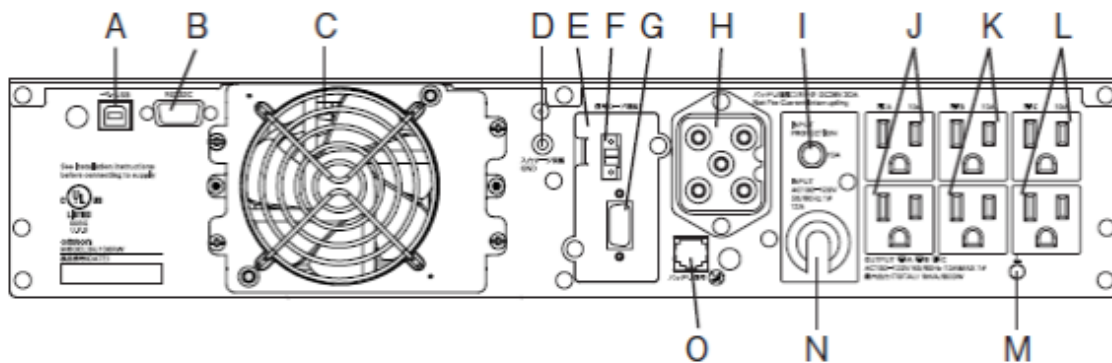
< 操作部拡大 >



- A. 「状態表示」デジタル表示器
- B. 「電源」スイッチ
- C. 「ブザー停止/テスト」スイッチ
- D. 「バッテリー増設」ランプ
- E. 「バッテリー交換」ランプ
- F. 「バイパス運転」ランプ
(入力電源をそのまま出力している状態)
- G. 「電源出力」ランプ
- H. 「設定」スイッチカバー / 「設定」スイッチ
- I. 「接続容量/バッテリー残量」レベルメーター

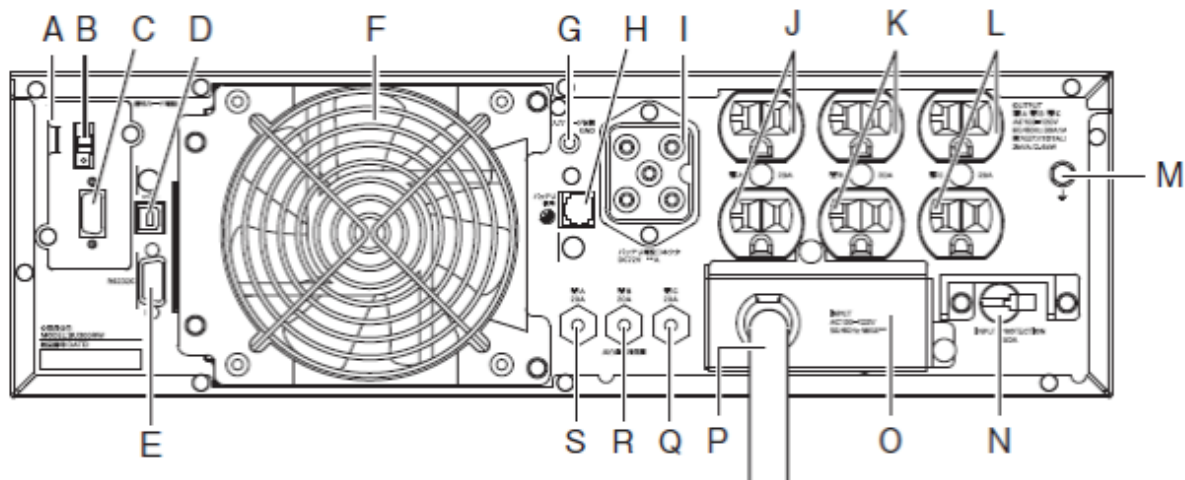
●背面

< BU75RW/BU100RW >



- | | |
|---------------------|------------------------|
| A. USB コネクタ | I. AC入力過電流保護スイッチ |
| B. RS-232C コネクタ | [INPUT PROTECTION] 15A |
| C. 冷却ファン | J. 電源出力コンセントA |
| D. 入力サージ保護GND | K. 電源出力コンセントB |
| E. 接点信号入出力カード | L. 電源出力コンセントC |
| F. リモートON/OFF専用コネクタ | M. 接地端子 |
| G. 接点信号入出力コネクタ | N. AC入力ケーブル |
| H. バッテリ増設コネクタ | O. バッテリ増設信号コネクタ |

< BU200RW/BU300RW >



- | | |
|---------------------|---------------------------|
| A. 接点信号入出力カード | K. 電源出力コンセントB |
| B. リモートON/OFF専用コネクタ | L. 電源出力コンセントC |
| C. 接点信号入出力コネクタ | M. 接地端子 |
| D. USB コネクタ | N. AC入力過電流保護スイッチ |
| E. RS-232C コネクタ | [INPUT PROTECTION] 45A |
| F. 背面冷却ファン(排気) | O. 端子カバー |
| G. 入力サージ保護GND | P. AC入力ケーブル |
| H. バッテリ増設信号コネクタ | Q. 電源出力コンセントC過電流ブレーカ(20A) |
| I. バッテリ増設コネクタ | R. 電源出力コンセントB過電流ブレーカ(20A) |
| J. 電源出力コンセントA | S. 電源出力コンセントA過電流ブレーカ(20A) |

7. 表示/ブザー・運転動作および機能設定

7-1. ブザー音・表示の見方

- 消灯表示を意味する
● 点灯表示を意味する
⋯ 点滅表示を意味する

1. 通常運転中の表示・ブザー

(1) 電源スイッチ OFF時

No.	状態表示	「電源出力」ランプ	「バイパス運転」ランプ	「バッテリー交換」ランプ	ブザー	充電	説明	対処方法
1		○	○	○	なし	OFF	AC入力なし 動作停止中	---
2	--	○	○	○	なし	ON	AC入力あり 「電源」スイッチ「切」	---

(2) 電源スイッチ ON時

3		●	○	○	なし	ON	「電源」スイッチ「入」 正常動作中	---
4		○	○	○	なし	ON	バッテリー充電不足で起動 待機中	このまま充電を継続してください。 充電されると出力が起動します。

2. テスト動作中の表示・ブザー

5		●	○	○	なし	OFF 放電中	自己診断テスト中	---
6		●	○	○	なし	OFF 放電中	バッテリー自動テスト中	---

3. 停電・AC入力異常が発生した時の表示・ブザー

(1) 電源スイッチ ON時

7		●	○	○	断続 4秒間隔	OFF 放電中	停電あるいはAC入力異常のため、バックアップ運転中。このままバックアップ運転を続けると出力が停止します	ご使用の接続機器を終了処理した後、接続機器を停止してください
8		●	○	○	断続 1秒間隔	OFF 放電中	(同上) バッテリーの残量が少ないので、まもなく出力を停止します	(同上)
9		○	○	○	なし	OFF 放電中	バッテリーの残量がなくなったため、出力を停止しました(数秒間のみ表示されます)	バッテリーを充電してください

(2)電源スイッチ OFF時

10		○	○	○	なし	(ON)	AC入力電圧およびAC入力周波数が仕様の範囲より高い異常です。	仕様に記載されているAC入力電圧・周波数の範囲にて使用してください
11		○	○	○	なし	(ON)	AC入力周波数が仕様の範囲より高い異常です。	
12		○	○	○	なし	(ON)	AC入力電圧が仕様の範囲より低く、AC入力周波数が仕様の範囲より高い異常です。	
13		○	○	○	なし	(ON)	AC入力電圧が仕様の範囲より高い異常です。	
14		○	○	○	なし	(ON)	AC入力電圧が仕様の範囲より低い異常です。	
15		○	○	○	なし	(ON)	AC入力電圧が仕様の範囲より高く、AC入力周波数が仕様の範囲より低い異常です。	
16		○	○	○	なし	(ON)	AC入力周波数が仕様の範囲より低い異常です。	
17		○	○	○	なし	(ON)	AC入力電圧、AC入力周波数ともに仕様の範囲より低い異常です。	

- 消灯表示を意味する
 ● 点灯表示を意味する
 〰 点滅表示を意味する

4. 機器に異常がある時の表示・ブザー

(1) 電源スイッチ ON時

No.	状態表示	「電源出力」ランプ	「バイパス運転」ランプ	「バッテリー交換」ランプ	ブザー	充電	説明	対処方法
18		●	○	○	断続 0.5秒 間隔	ON または 放電中	接続機器が多すぎ、定格容量を超えています。この状態が下記時間以上続くと、バイパス運転(注1)によって商用電源をそのまま供給します。	表示が、No.3の状態になるまで、接続機器を減らしてください
19		●	●	○	断続 0.5秒 間隔	ON または 放電中	・接続110%以上： 10秒後にバイパス運転 ・接続130%以上： 即時バイパス運転、 1分後に出力停止 (No.20に移行) ・接続150%以上： 即時バイパス運転、 10秒後に出力停止 (No.20に移行)	
20		○	○	○	連続	ON または 放電中	接続容量オーバーにより出力停止しました	本機と接続機器の電源スイッチを全て切り、接続機器を減らした後、本機と接続機器の「電源」スイッチを入れてください
21		○	○	○	連続	ON または 放電中	出力が短絡したため出力停止しました	接続機器のAC入力が短絡していないか、確認してください
22		●	●	○	連続	—	冷却ファンが異常のためバイパス運転に移行しました(注1)	異常のあるファンを交換してください。
23		○	○	○	連続	OFF	故障発生しました。「ブザー停止」スイッチを押すと異常内容の詳細を表示します (No.25 - No.31)	本機と接続機器の電源スイッチを全て切り、本機の電源スイッチのみ再度入れてください。表示の内容が変わらない場合は、本機に異常がありますので販売店またはオムロン電子機器カスタマサポートセンターにご連絡ください
24		—(注3)	●	○	連続	—(注3)		
25		●	●	○	連続	—	出力電圧が異常(上昇)のためバイパス運転に移行しました(注1)	No.24の状態 で「ブザー停止」スイッチを押している間のみ異常内容の詳細表示をします
26		●	●	○	連続	—	出力電圧が異常(低下)のためバイパス運転に移行しました(注1)	(同上)
27		●	○	○	連続	OFF	バッテリーの充電電圧が異常(上昇)のため充電停止しました。バッテリーが放電するとバイパス出力します。(表示はすべて消えます。)	No.23の状態 で「ブザー停止」スイッチを押している間のみ異常内容の詳細表示をします
28		●	○	○	連続	OFF	バッテリーの充電電圧が異常(低下)のため充電停止しました。バッテリーが放電するとバイパス出力します。(表示はすべて消えます。)	(同上)
29		●	●	○	連続	—	内部温度が異常のためバイパス運転に移行しました(注1)	No.24の状態 で「ブザー停止」スイッチを押している間のみ異常内容の詳細表示をします
30		●	●	○	連続	—	直流バス電圧エラーのためバイパス運転に移行しました(注1)	(同上)

注1：バイパス運転中は、商用電源をそのまま出力します。

バイパス運転中に停電(AC入力OFF)が発生すると出力は停止します。

注2：ユーザでのファン交換はUL規格に適合していません。

注3：状態によって表示、動作は異なります。

- 消灯表示を意味する
 ● 点灯表示を意味する
 〃 点滅表示を意味する

4. 機器に異常がある時の表示・ブザー

(2) 電源スイッチ OFF時

No.	状態表示	「電源出力」ランプ	「バイパス運転」ランプ	「バッテリー交換」ランプ	ブザー	充電	説明	対処方法
31	EE	○	○	○	連続	OFF	故障が発生しました。 “ブザー停止”スイッチを押すと異常内容の詳細を表示します	本機に異常がありますので販売店またはオムロン電子機器カスタマサポートセンターにご連絡ください
32	E3	○	○	○	連続	OFF	バッテリーの充電電圧が異常(上昇)のため充電停止しました。	No.31の状態で“ブザー停止”スイッチを押している間のみ異常内容の詳細表示をします
33	E4	○	○	○	連続	OFF	バッテリーの充電電圧が異常(低下)のため充電停止しました。	(同上)

5. バッテリー交換表示・ブザー

34	On	●	○	●	断続 2秒間隔	ON	バッテリーテストでバッテリーの劣化が検出されました (警報のみ・出力継続)	バッテリーを交換してください。 別売の交換バッテリーをお求めになればお客様で交換できます。
----	----	---	---	---	------------	----	--	--

7-2. 運転・停止方法と基本的な動作

●「電源」スイッチが「切」の状態、商用電源に「AC入力」プラグが接続された時

(BU200RW/BU300RW は背面の入力過電流保護スイッチ「INPUT PROTECTION」を ON にしてください。)

- 過去に発生した最新の異常内容を表示します。
- 状態表示が「- -」となります。
- 電源出力停止。
- バッテリーは自動充電を開始します。

●運転開始方法

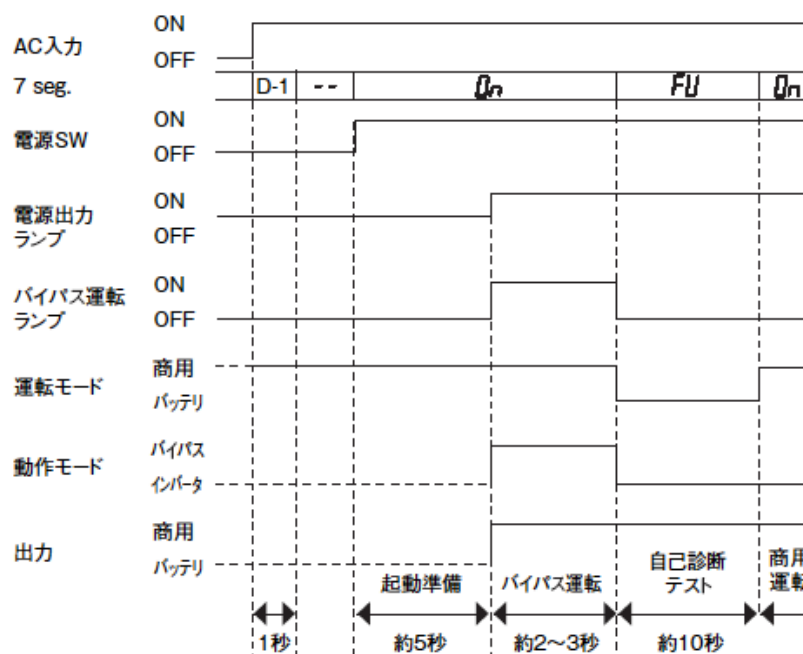
操作 本機の「電源」スイッチを入れます。

- スイッチを入れてから約5秒後にバイパス運転で出力を開始します。(状態表示「 $\bar{0}n$ 」)
ただし、コールドスタート時は「 $\bar{E} \{ \}$ 」表示になり、バックアップ運転で出力を開始します。
- 状態表示が、「 $\bar{F}U$ 」となり約10秒間バックアップ運転に移行し自己診断テストを実行します。
 1. バッテリー電圧が低い時は自己診断テストをしません。バッテリーを充電した後に自動的に自己診断テストをします。
 2. コールドスタート時は自己診断テストをしません。
- 自己診断テストが正常に終了すれば商用電源によるAC出力に切り替わり、インバータ運転による通常運転状態になります。
- 自己診断テストを実行しなかった時は、すぐに商用電源によるAC出力になります。

状態表示	$\bar{0}n$
ブザー音	なし
電源出力コンセント	電源出力する (接続機器通電状態)

参照 コールドスタート ON/OFF 設定

- 運転中は、バッテリーは自動充電されます。



<Note>

D-1:最後に発生したエラーコードの表示
(エラーコードが一度も発生していないときは「- -」表示)

●停電時の動作

- 停電や入力電源異常が発生すると、自動的にバックアップ運転に切り替わりバッテリーからの電力で「電源出力」コンセントから電源出力を継続します。
- 状態表示およびブザーが断続鳴動して知らせます。

【参照】 設定スイッチ [1] でブザー：ON/OFFの選択ができます。

(` ` 点滅表示を意味する)

状態表示	ブザー	出力	充電	説明	対処方法
	断続 4秒間隔	ON	OFF 放電中	停電あるいはAC電力異常のため、バッテリーによるバックアップ運転中。	ご使用の接続機器を終了処理したあと、接続機器を停止してください
	断続 1秒間隔	ON	OFF 放電中	(同上) バッテリーの残量が少ないのでまもなく出力を停止します	(同上)
	なし	OFF	OFF 放電中	バッテリーの残量がなくなったため、出力を停止しました(数秒間のみ表示されます)	バッテリーを充電してください

●停電が回復した時

- 本機から電源出力している間に停電／入力電源異常が回復した時は、自動的に商用電源による出力に戻ります。消費したバッテリーは充電が開始されます。
- バッテリーの電力を使い切って電源出力が停止した後、停電／入力電源異常が回復した時は、本機は自動的に再起動し電源出力を再開します。消費したバッテリーは充電が開始されます。

【参照】 設定スイッチ [2] で自動再起動させる／させないの選択でできます。

●運転停止方法

【操作】 本機の「電源」スイッチを切ります。

- 本機からの電源出力が停止します。

状態表示	ブザー	出力	充電	説明
	なし	OFF	ON	AC入力あり 「電源」スイッチ「切」

- 「電源」スイッチを切っても商用電源からACが供給されていれば、バッテリーは自動充電されます。

●「接続容量/バッテリー残量」レベルメータについて

商用運転中（通常時）は「接続容量/バッテリー残量」レベルメータは接続されている機器の消費電力をパーセントで表示します。

BU75RW: 750VA/600Wを100%とし、3段階で表示します。

BU100RW: 1000VA/800Wを100%とし、3段階で表示します。

BU200RW: 2000VA/1600W(30Aプラグまたは配電盤接続時)、1600VA/1280W(20Aプラグ接続時)、1100VA/880W(15Aプラグ接続時)を100%とし、3段階で表示します。

BU300RW: 3000VA/2400W(配電盤接続時)、2400VA/1920W(30Aプラグ接続時)、1600VA/1280W(20Aプラグ接続時)、1100VA/880W(15Aプラグ接続時)を100%とし、3段階で表示します。

接続容量が30%以下の場合、レベルメータは消灯します。

バックアップ運転中は、バッテリーの残量をパーセントで表示します。



	商用運転時 接続容量 点灯表示	バックアップ運転時 バッテリー容量 点減表示
90% ランプ	90%以上	60%以上
60% ランプ	60%以上	30～60%
30% ランプ	30%以上	0～30%
すべて消灯	30%以下	—

※商用運転中（通常時）でも、「ブザー停止/テスト」スイッチを押している間はバッテリー残量を表示します。

7-3. ブザー音を一時停止する

ブザーが鳴動時に「ブザー停止/テスト」スイッチを0.5秒以上押すとブザーが一時停止します。



7-4. 自己診断テストの実施

このテストでは本機の故障診断、バッテリー劣化の簡易テストを行いません。
下記手順にて本機内部の回路故障、バッテリー交換の要否が確認できます。

バッテリーの充電が完了していない場合は、自己診断テストはすぐに実行されません。
充電完了後、自動的に実施します。

- (1) 本機にパソコンなどの機器を接続した後、本機の「電源」スイッチを入れます。
- (2) 自動で自己診断テストを開始します。（「FU」表示）
テストのためにバックアップ運転に移行します。（ブザーは鳴りません。）
約10秒間のテストが終了した後、自動的に通常運転状態に戻ります。
- (3) 「状態表示」が点減表示/バッテリー交換ランプが点滅したり、ブザーが鳴動した場合
参照▶ 「7-1 項 ブザー音・表示の見方」

7-5. バッテリー自動テストの説明

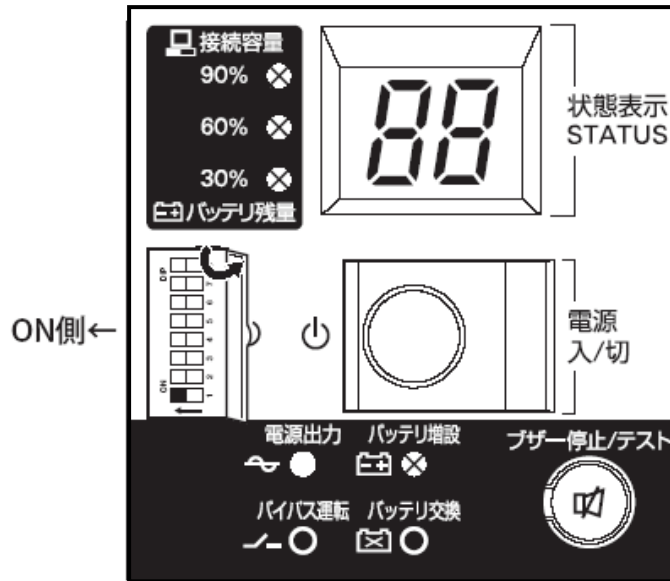
このテストでは本機の故障診断、バッテリー劣化のテストを行いません。（自己診断テストよりも精度が高いです）このテストは自動で実施されます。（お客様で特別な操作は不要です）

テスト周期は「AC入力」プラグを電源コンセント（商用電源）に接続してから4週間に1回の間隔です。「電源」スイッチが切られているもしくは、バッテリーがフル充電の状態でない場合は、テストを行いません。

- (1) バッテリー自動テストの開始によって、自動的にバックアップ運転を開始します。
（「bL」表示）（ブザーは鳴りません。）
バッテリー自動テストが終了した後、自動的に通常運転状態に戻ります。
- (2) 「状態表示」が点減表示/バッテリー交換ランプが点滅したり、ブザーが鳴動した場合
参照▶ 「7-1 項 ブザー音・表示の見方」

7-6. 機能の設定変更

7-6-1. 設定スイッチの変更



設定スイッチの機能一覧

No.	設定する機能	OFF側	ON側
1	停電等発生時のブザー音設定	ブザーが鳴ります	ブザーが鳴りません
2	停電からの復帰時の自動起動設定	自動起動します	自動起動しません
3	バッテリーテストの実施可否設定	テストを行います	テストを行いません
4	自動起動モード設定	モードA	モードB
5	BS信号の有効範囲設定	いつでも有効	バックアップ時のみ有効
6	——	——	——
7	AC入力の選択	「Page 24/55: AC 入力プラグの選択」参照	
8			

- BS信号：バックアップ電源停止信号 [参照](#) 「7項 信号入出力」

- 停電等発生時のブザー音設定 (設定スイッチ [1](#)) 製品出荷時: OFF



OFF: アラームが必要な時ブザーが鳴ります。

ON: バックアップ運転時、バッテリー交換時のブザーが鳴りません。その他の異常状態時 (接続容量オーバー、動作異常など) はブザーが鳴ります。

- 停電からの復帰時の自動起動設定 (設定スイッチ [2](#)) 製品出荷時: OFF



OFF: 復電時、自動起動させます。

停電などが発生してシャットダウンソフト、または接点信号 (BS 信号) で本機を停止した後、商用電源が回復すると自動的に本機が起動し出力を開始します。

ON: 復電時、自動起動させません。

シャットダウンソフト、または接点信号 (BS 信号) で本機を停止した後、商用電源が回復しても本機は起動しません。手動で「電源」スイッチを一旦 OFF し、再度 ON させることで起動します。

● バッテリテストの実行可否設定 (設定スイッチ [3])製品出荷時: OFF



OFF: 4週間に1回、自動的にバッテリテストを実施します。

ON: バッテリ自動テストを実施しません。

バッテリ自動テストのための定期的なバックアップ運転をさせたくない時はこの設定にします。

● 自動起動モード設定 (設定スイッチ [4])製品出荷時: OFF



OFF: (モードA)・・・UPS停止後、AC入力 of "ON" を検知したら直ちにUPSを自動起動させます。

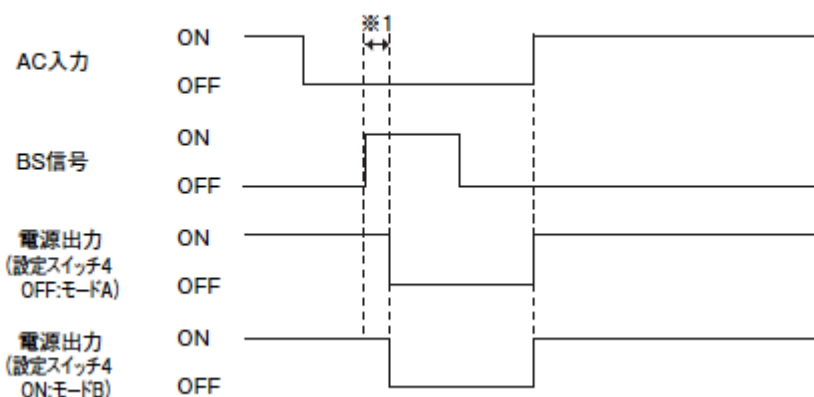
ON: (モードB)・・・UPS停止後、AC入力 of "OFF" → "ON" を検知したタイミングでUPSを自動起動させます (AC入力のOFFの定義:AC入力 that 1 second or more OFFした時)。

※設定スイッチ [4] は、停電からの復帰時の自動起動設定 (設定スイッチ [2]) がOFF設定 (自動起動させる) の時に有効です。

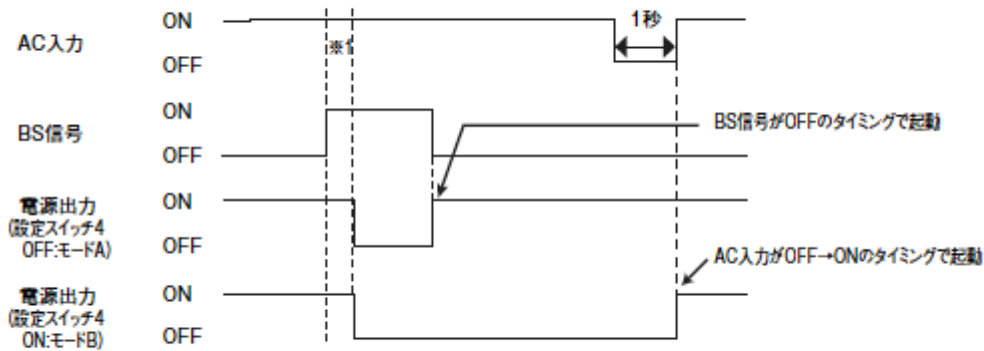
※この設定モードは、接点信号入出力のバックアップ停止信号 (BS) にてUPSを停止させた後のみ有効です。

※RS-232Cコネクタにケーブルを接続して自動シャットダウンソフトを使用した場合には、この設定に関わらずモードAの動作をします。

① 停電発生後に、BS信号にてUPSを停止した場合



②AC入力がONの時に、BS信号にてUPSをシャットダウンした場合



※1 BS信号の受付時間は設定スイッチ ⑤ に関連します。

●BS信号の有効範囲設定(設定スイッチ ⑤)製品出荷時: OFF



OFF: BS信号はいつでも有効(受付可能)です。

バックアップ電源停止信号(BS)を10秒以上「ON」にすることで、本機の「電源出力」を停止できます。

ON: BS信号はバックアップ運転時のみ有効(受付可能)です。(商用運転中は信号を受け付けません)

バックアップ電源停止信号(BS)を0.01秒(10ミリ秒)以上「ON」にすることで、本機の電源出力を停止できます。

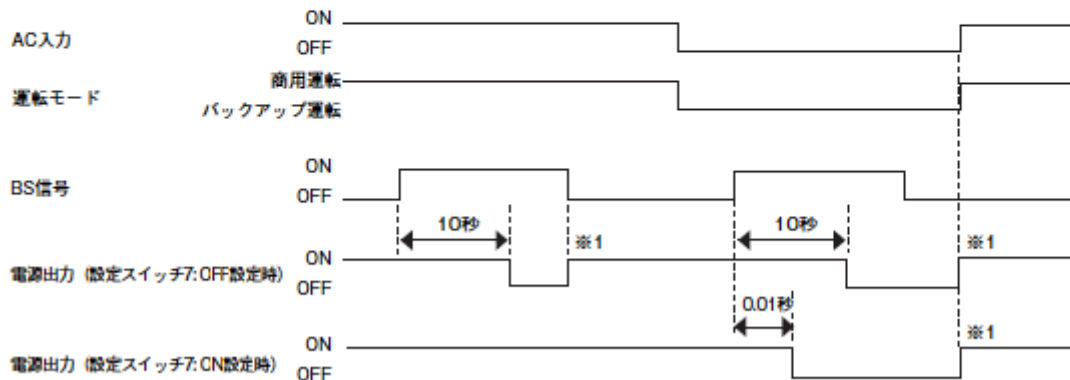
商用運転中にバックアップ電源停止信号(BS)が入っても停止させたくない時はこの設定にします。

・復電時の自動起動動作について

復電時、自動起動動作については、設定スイッチ ② に関連します。

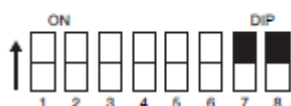
但し、BS信号をONにしている間は、本機は起動しません。

●BS信号の有効範囲設定(設定スイッチ ⑤)の動作説明タイムチャート



※1 設定スイッチ ② がOFF (自動起動させる) の時の動作です。ON設定 (自動起動させない) の時は自動起動しません。

●AC入力プラグの選択(設定スイッチ [7]、[8]).....製品出荷時: 下表参照



設定スイッチ [7]	設定スイッチ [8]	BU75RW	BU100RW	BU200RW	BU300RW
OFF	OFF	15A 出荷時設定	15A 出荷時設定	15A 出荷時設定	15A
ON	OFF	-	-	20A	20A
OFF	ON	-	-	30Aまたは 配電盤接続	30A 出荷時設定
ON	ON	-	-	-	35 A以上 配電盤接続

BU75RW

出荷設定時の [7]OFF, [8]OFFのままご使用ください。無停電電源装置(UPS)は750VA/600Wの定格出力容量まで接続できます。(出荷時設定)

BU100RW

出荷設定時の [7]OFF, [8]OFFのままご使用ください。無停電電源装置(UPS)は1000VA/800Wの定格出力容量まで接続できます。(出荷時設定)

BU200RW

[7]OFF, [8]OFF: 出荷時接続されている15AのACプラグを使用するとき、この設定にしてください。無停電電源装置(UPS)は1100VA/880Wの出力容量まで接続できます。(出荷時設定)

[7]ON, [8]OFF: 20AのAC入力プラグに変更した場合、この設定にしてください。無停電電源装置(UPS)は1600VA/1280Wの出力容量まで接続できます。

[7]OFF, [8]ON: 30AのAC入力プラグまたは配電盤接続に変更した場合、この設定にしてください。無停電電源装置(UPS)は2000VA/1600Wの出力容量まで接続できます。

BU300RW

[7]OFF, [8]OFF: 15AのAC入力プラグに変更した場合、この設定にしてください。無停電電源装置(UPS)は1100VA/880Wの出力容量まで接続できます。

[7]ON, [8]OFF: 20AのAC入力プラグに変更した場合、この設定にしてください。無停電電源装置(UPS)は1600VA/1280Wの出力容量まで接続できます。

[7]OFF, [8]ON: 出荷時接続されている30AのAC入力プラグを使用するとき、この設定にしてください。無停電電源装置(UPS)は2400VA/1920Wの出力容量まで接続できます。(出荷時設定)

[7]ON, [8]ON: AC入力プラグを配電盤接続に変更した場合、この設定にしてください。無停電電源装置(UPS)は3000VA/2400Wの出力容量まで接続できます。

7-6-2. 無停電電源装置 (UPS) 動作モード設定

1. 設定可能項目と説明

選択する項目は4つあります。

- 1) コールドスタートON/OFF設定
- 2) 出力電圧設定
- 3) 電源出力停止遅延時間設定
- 4) 信号入出力テスト

本操作にて以下の設定が可能です。

1) コールドスタートON/OFF設定

・コールドスタートOffモード

AC入力がある時しか本機を起動できません。

・コールドスタートOnモード

「AC入力」がなくても、本機を起動させることが可能です。(ただし、リモートON/OFF信号での起動はできません)

AC入力がONすると通常運転になります。出力周波数については最後に「AC入力」があった時の周波数で出力されます。

2) 出力電圧設定 (100V/110V/115V/120V)

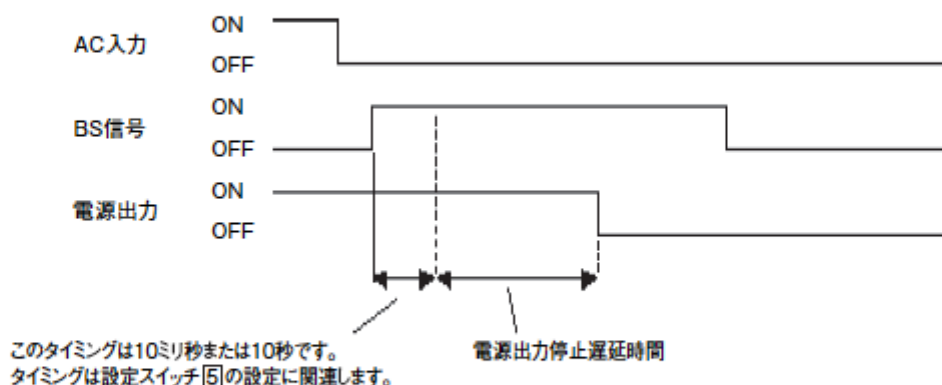
4種類の出力電圧を設定することが可能です。(設定範囲：100V/110V/115V/120V)

入力電圧に依存せずに設定された電圧で出力します。

3) 電源出力停止遅延時間設定

BS信号を受け付けてから電源出力を停止させるまでの遅延時間を設定できます。

(設定範囲0～10分)



参照 → 「Page 22/50: BS信号の有効範囲設定」

<注>

「リモートON/OFF」信号は、この設定とは無関係です。

「リモートON/OFF」信号が「High」になると、直ちに出力が停止されます。

4) 信号入出力テスト (BL/TR/BU/WB/BS/リモート)

- 4種類の出力信号を強制的にONすることが可能です。
- 2種類の入力信号のON / OFF状態を状態表示とブザーで確認することが可能です。

8. 信号入出力

接点信号入出力について

下記仕様に合わせてお客様が独自にシステムを開発されることで、停電時の処理を自動化できます。バックアップ信号をシステムで検知し、停電処理や、バッテリー容量低下信号をシステムで検知してシステムの終了処理をおこなえます。また、システムからバックアップ停止信号を入力することにより、バッテリーに余力を残した状態で本機を停止し、次の停電発生に備えることができます。

1. 信号出力の形式

本機は4種類の信号出力を持っています。出力回路はフォトカプラを使用したオープンコレクタ回路（一種の電子スイッチ）になっています。

●バックアップ信号出力 (BU)

停電中に継続してBUはONになります。

BU-COM	停電時ON
--------	-------

●バッテリー容量低下信号出力 (BL)

バックアップ運転時でバッテリーの残量が少なくなった時にONになります。

BL-COM	バッテリーLow時ON
--------	-------------

●トラブル信号出力 (TR)

本機の内部異常発生時にONになります。

TR-COM	異常時ON
--------	-------

●バッテリー交換信号出力 (WB)

バッテリーが劣化し、交換が必要なことをテストで検出したときにONになります。

WB-COM	バッテリー劣化検出時ON
--------	--------------

2. 信号入力の形式

●バックアップ電源停止信号(BS)入力の形式

BS-COM	無停電電源装置(UPS)停止
--------	----------------

「電源出力停止遅延時間設定」で設定された時間を経過した後、無停電電源装置(UPS)の出力を停止します。

(1)「BS信号の有効範囲設定」(設定スイッチ $\text{\textcircled{7}}$)をOFFに設定している時

外部から10秒以上継続する電圧信号(High)を入力することで、無停電電源装置(UPS)の出力を停止できます。

(2)「BS信号の有効範囲設定」(設定スイッチ $\text{\textcircled{7}}$)をONに設定している時

外部から0.01秒(10ミリ秒)以上継続する電圧信号(High)を入力することで、バックアップ中のみ停止信号を受け付け電源出力を停止できます。

参照 「Page 22/50: BS信号の有効範囲設定」

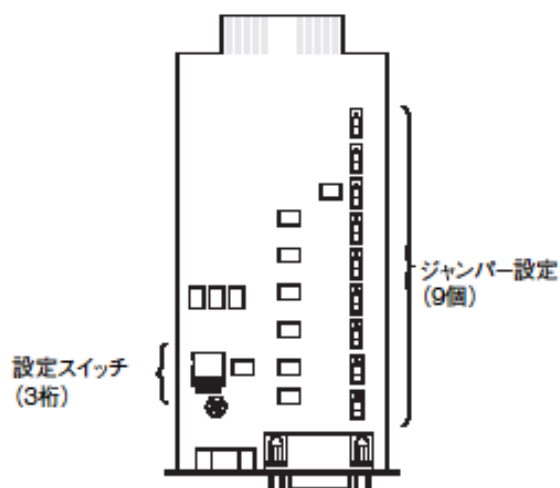
●リモートON/OFF信号

外部に接続した接点、あるいはオープンコレクタ回路のON/OFFの状態より、本機の運転、停止が行えます。この機能を使用するには本機の「電源」スイッチを入れておく必要があります。

外部接点	動作
オープン	運転
クローズ	停止

(注: コールドスタートがON設定であっても、AC入力電源が無い状態ではリモートON/OFF信号で無停電電源装置(UPS)を起動することはできません。) 接続端子は接点信号入出力コネクタのピン番号6-7とリモートON/OFF専用コネクタの2ヶ所あります。用途に応じてどちらかご使用ください。

3. 接点信号入出力カードで設定できる項目



■設定スイッチによる設定

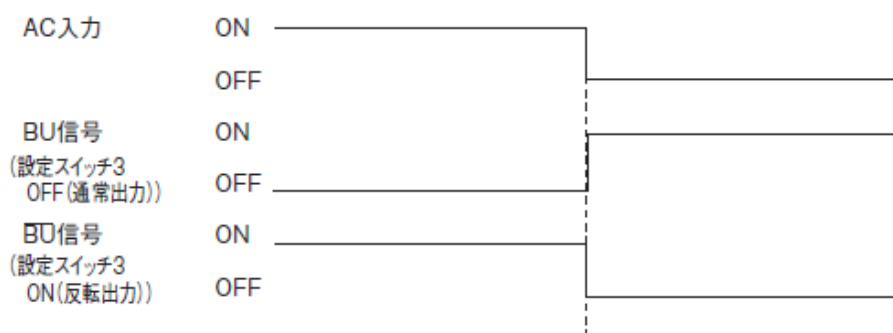
接点信号入出力カードの設定スイッチにより、下記の設定が行えます。

●BU信号、BL信号反転出力設定

BU、BL信号を反転出力します。



設定スイッチ 3	バックアップ信号出力 (BU)
OFF	通常出力 (工場出荷設定)
ON	反転出力



※設定スイッチ1および2については、オフの状態でご使用下さい。

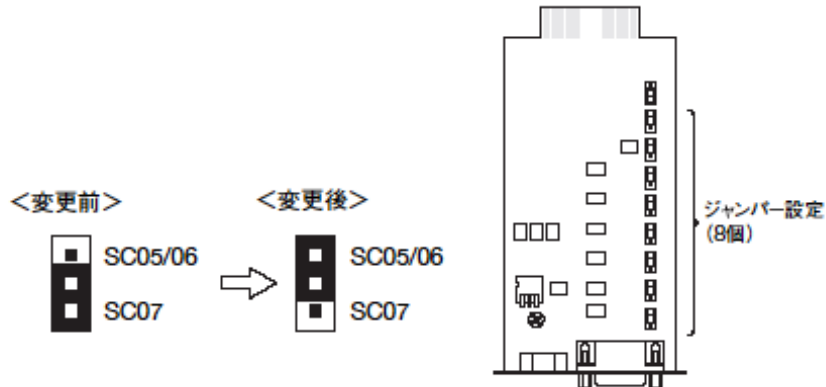
■ジャンパー設定

ジャンパー設定をすることにより接点信号入出力カード「SC05/SC06」のコネクタピン配置に変更することができます。

接点信号入出力カードのJP2～JP9のジャンパー設定(8個)を「SC05/06」側へ変更してください。

※ JP10は「SC05/06/07」側のままご使用ください。

※ 出荷時設定：JP2～JP9 SC07側, JP10 SC05/06/07側



4. 信号入出力コネクタ (DSUB9P メス)

ピン配置	ピン番号	ジャンパー設定「SC07」時 ※工場出荷設定	ジャンパー設定「SC05/06」時
<p>フロントビュー ネジサイズ： インチネジ #4-40 UNC</p>	1	バッテリーLOW信号出力 (BL)	NC
	2	トラブル信号出力 (TR)	バックアップ信号出力 (BU)
	3	バックアップ停止信号入力 (BS)	バックアップ反転信号出力 (BU)
	4	NC	COMMON (COM)
	5	COMMON (COM)	バッテリーLOW信号出力 (BL)
	6	リモートON/OFF入力(－)	バックアップ停止信号入力 (BS)
	7	リモートON/OFF 入力(+)	リモートON/OFF 入力(－)
	8	バックアップ信号出力 (BU)	トラブル信号出力 (TR)
	9	バッテリー劣化信号出力 (WB)	リモートON/OFF 入力(+)

5. リモート ON/OFF 専用コネクタ

ピン配置	ピン番号	信号名
<p>フロントビュー ネジサイズ： インチネジ #4-40 UNC</p>	1	リモートON/OFF(+)
	2	リモートON/OFF(－)

付属品のリモート ON/OFFコネクタを接続

6. 信号入出力定格

● 信号出力 (BL、TR、BU、WB、BU)

フォトカプラ定格

印加可能電圧：DC35V以下

最大電流：20mA

● リモートON/OFF

端子間電圧：DC10V

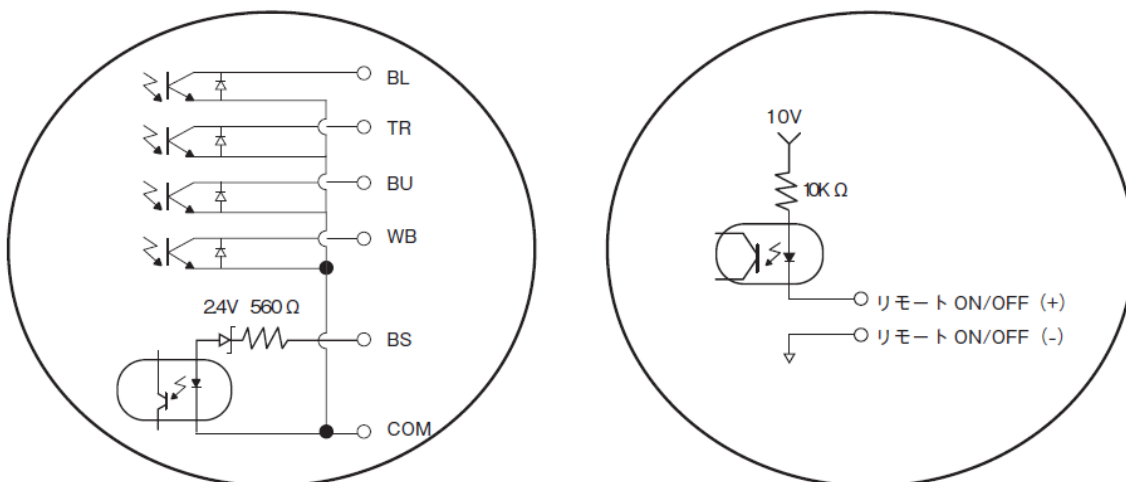
クローズ時電流：max.10mA

● バックアップ電源停止信号入力 (BS)

入力電圧 High (ON) DC5～12V

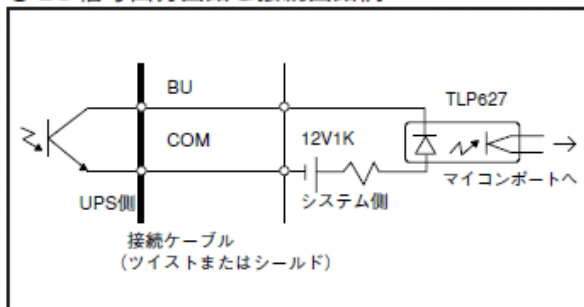
Low (OFF) DC0.7V以下

7. 本機内部の信号入出力回路

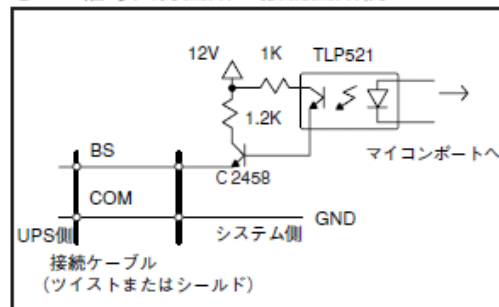


8. 信号入出力回路使用例

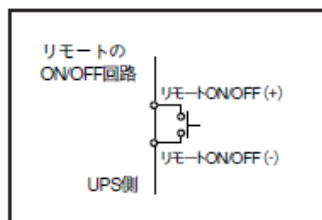
● BU 信号出力回路と接続回路例



● BS 信号入力回路の接続回路例



● リモート ON/OFF の例



9. 信号入出力使用時のご注意、お願い

お願い

- 信号出力回路にリレーなど逆起電力の発生する機器を接続する場合は、逆起電力を防止するダイオードをリレーの両端に付けてください。

解説

- 停電中に本機が自動停止した後に停電が回復した場合、本機は自動的に再起動し、電力を供給します。接続機器を動作させたくない時は、接続機器のスイッチを切るか、停電からの復帰時の自動起動設定（設定スイッチ²⁾を ON に設定して下さい。

9. 設置方法

本製品は以下の設置方法が可能です。ご使用になる環境に応じて選択してください。

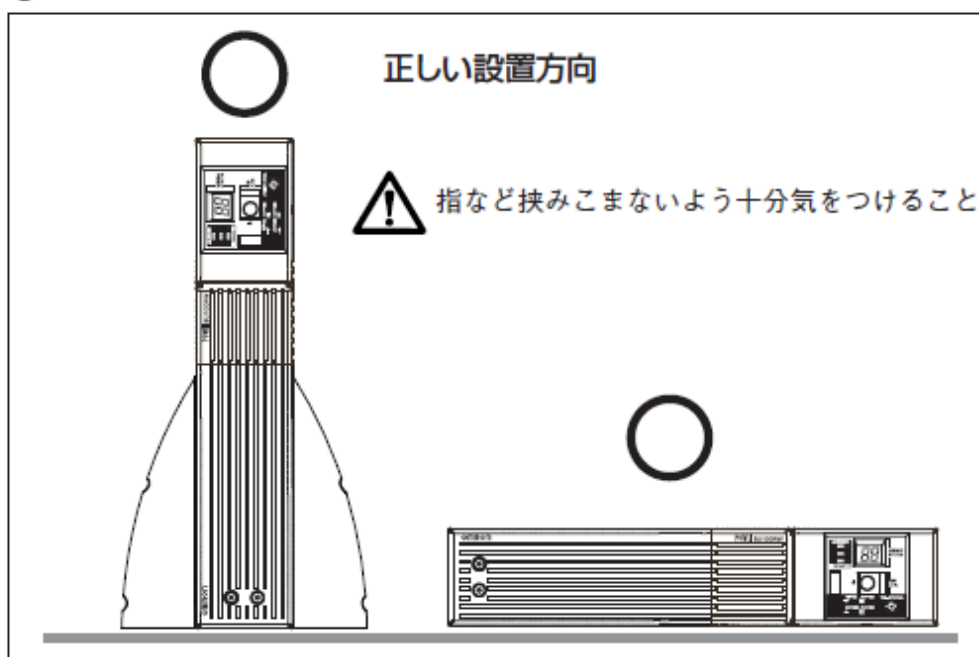
2-2-1. ラックマウント設置

2-2-2. 据置き設置

- 横置き
- 縦置き設置

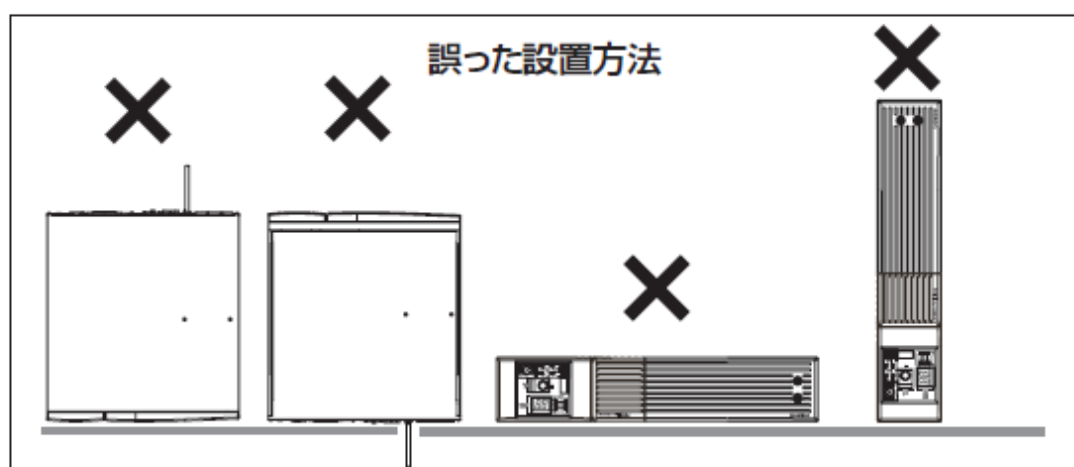
下図で指定した正しい設置方向以外では使用しないでください。

●BU75RW/BU100RW

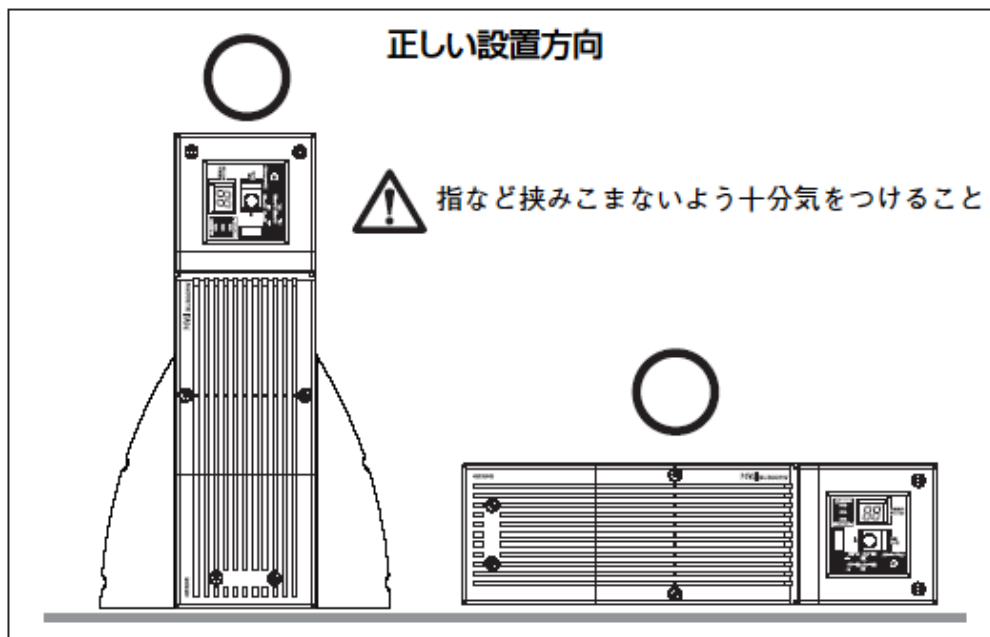


⚠ 注意

増設バッテリーユニット (BUM100R) を接続するときは、無停電電源装置 (UPS) BU75RW/BU100RW の下になるように設置してください。

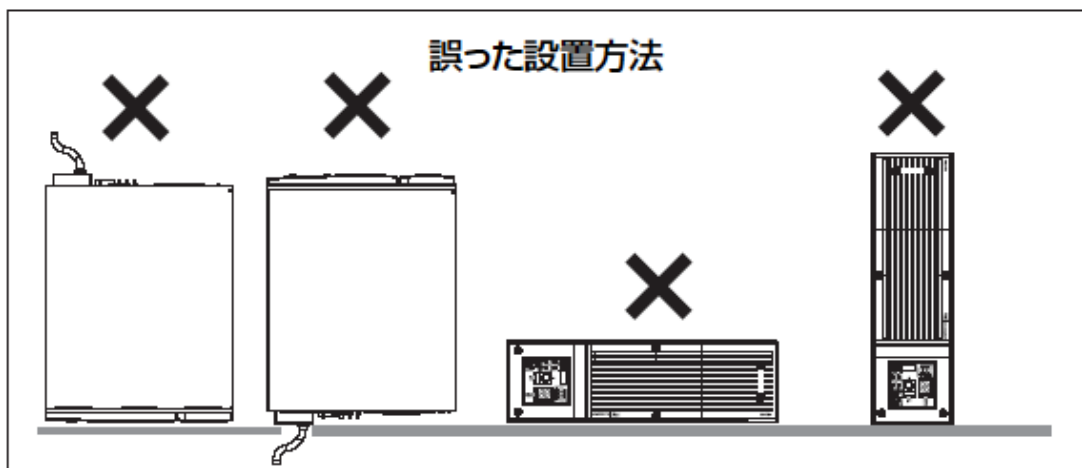


●BU200RW/BU300RW



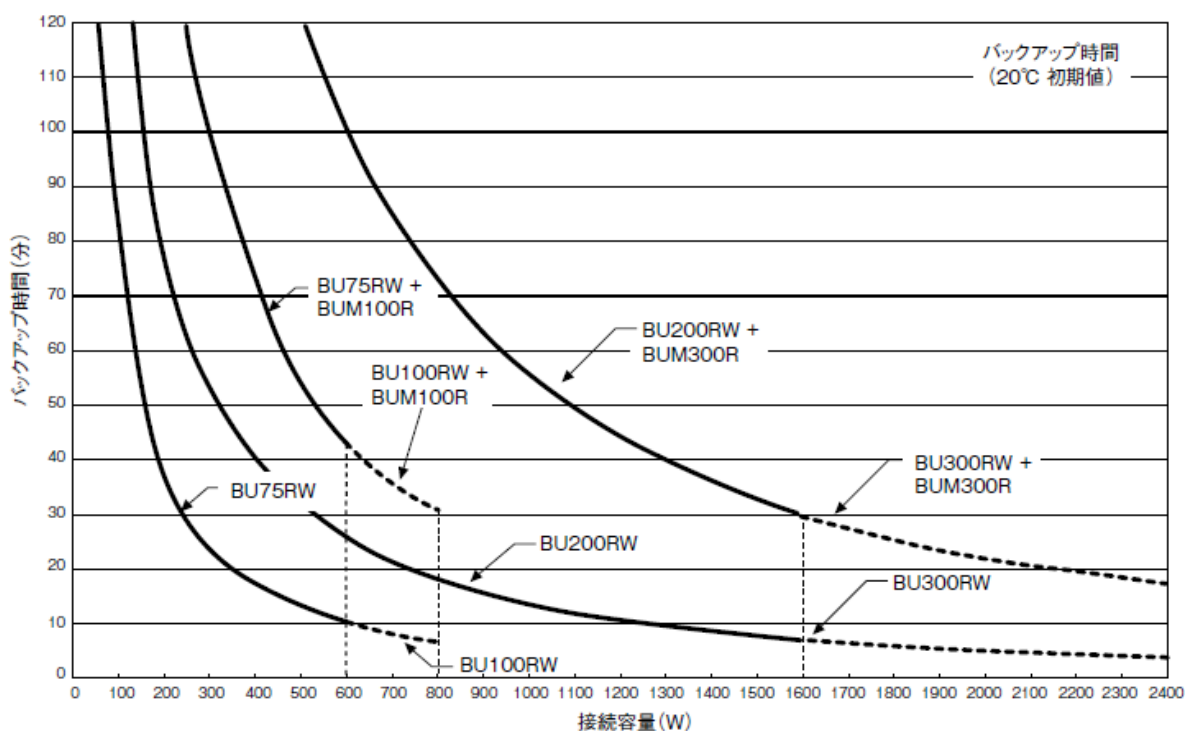
⚠ 注意

増設バッテリーユニット (BUM300R) を接続するときは、無停電電源装置 (UPS) BU200RW/BU300RW の下になるように設置してください。



10. バックアップ時間

- バックアップ時間グラフ (新品初期値、20℃での特性グラフです。)
 - 温度が低いとバックアップ時間は下記グラフ (表) の値より短くなります。
- バックアップ時間は、接続機器の容量が小さいと長くなります。



バックアップ時間表

時間単位: (分)

型式	接続容量 (Watt)							
	20W	50W	100W	200W	300W	400W	500W	600W
BU75RW	250	150	85	36	23	18	13	10
BU75RW + BUM100R	860	520	320	170	100	75	50	44

型式	接続容量 (Watt)									
	20W	50W	100W	200W	300W	400W	500W	600W	700W	800W
BU100RW	250	150	85	36	23	18	13	10	8.5	7
BU100RW + BUM100R	860	520	320	170	100	75	50	44	36	31

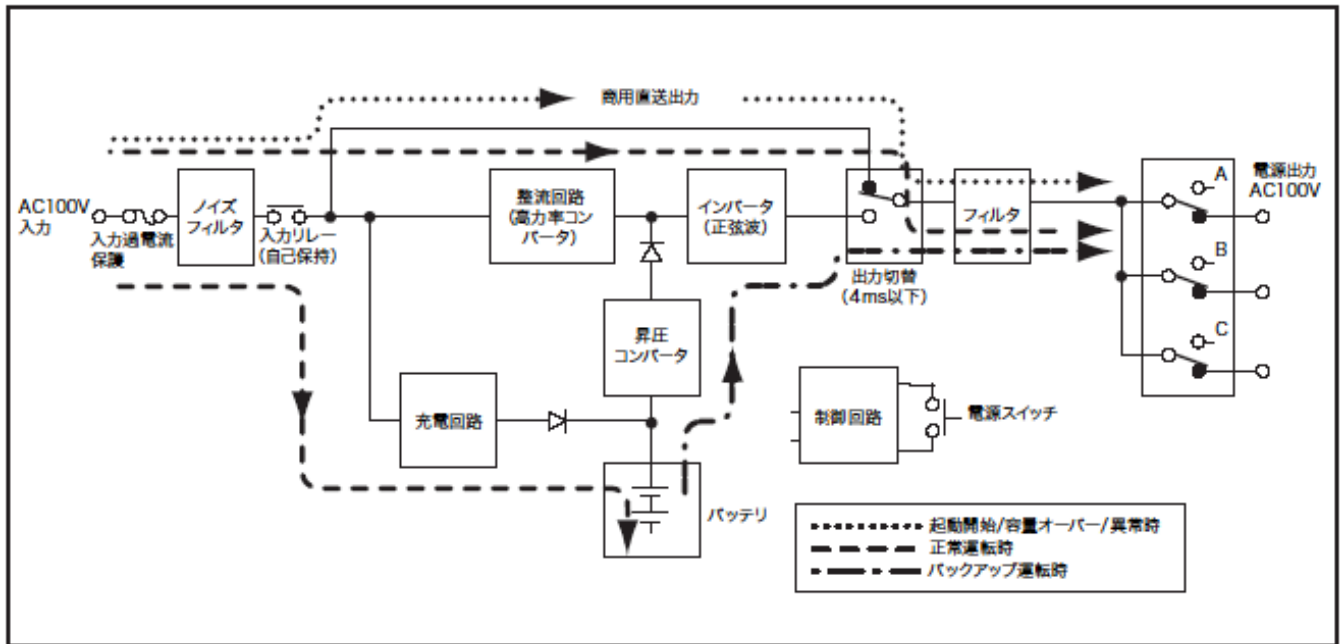
型式	接続容量 (Watt)									
	100W	200W	400W	600W	800W	1000W	1200W	1400W	1600W	
BU200RW	150	80	40	26	18	14	11	9	7	
BU200RW + BUM300R	500	240	150	100	75	55	44	35	30	

時間単位: (分)

型式	接続容量 (Watt)											
	200W	400W	600W	800W	1000W	1200W	1400W	1600W	1800W	2000W	2200W	2400W
BU300RW	80	40	26	18	14	11	9	7	6	5.3	4.5	4
BU300RW + BUM300R	240	150	100	75	55	44	35	30	26	23	20	18

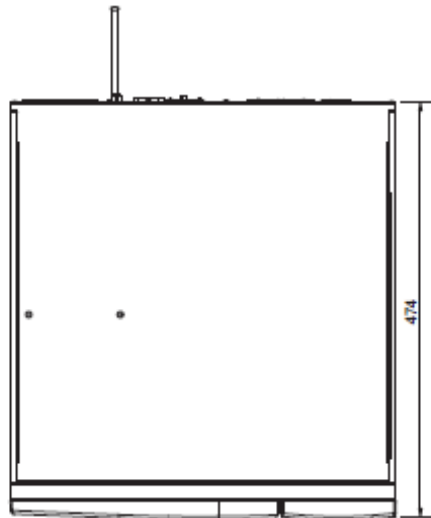
※ 本バックアップ時間は、あくまでも参考値となります。バッテリーの寿命及び外部環境 (温度など) によって変わります。

11. 回路ブロック図

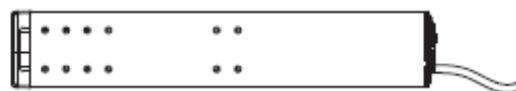


1 2. 外形図

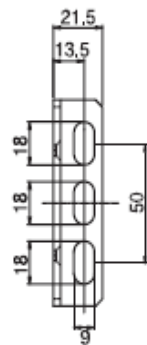
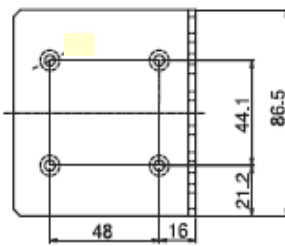
● BU75RW/BU100RW



<単位：mm/公差±1mm>



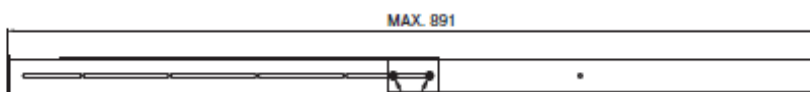
● 耳金具



● サポートアングル

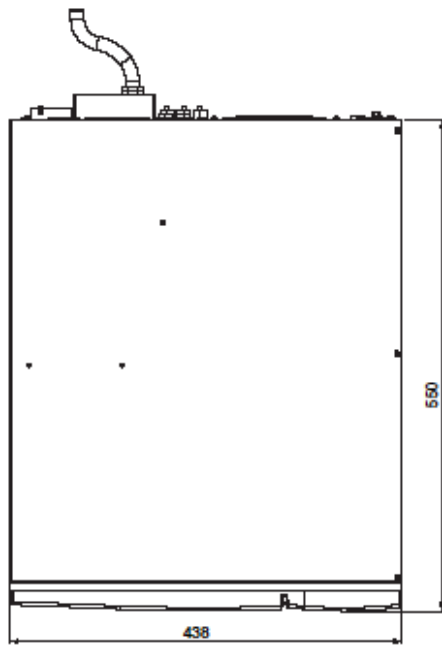


レール長と固定ネジ

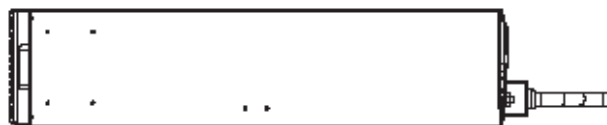
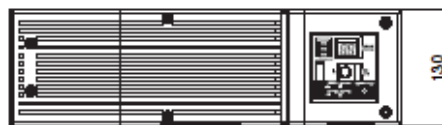


レール長と固定ネジ

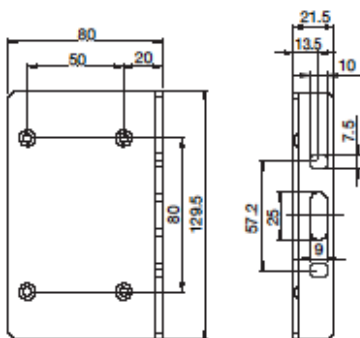
● BU200RW/BU300RW



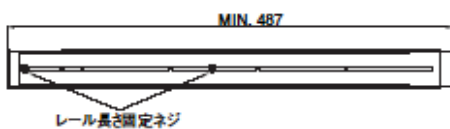
<単位：mm/公差±1mm>



● 耳金具

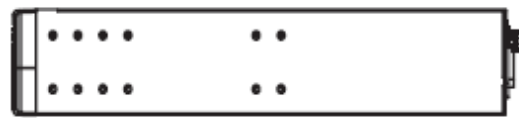
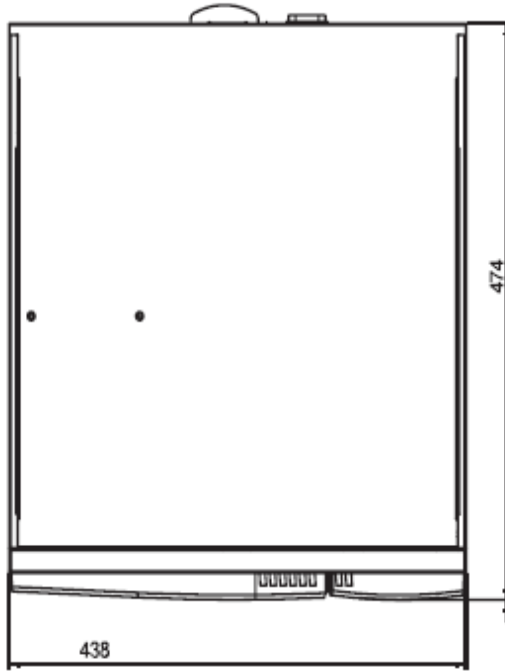


● サポートアングル

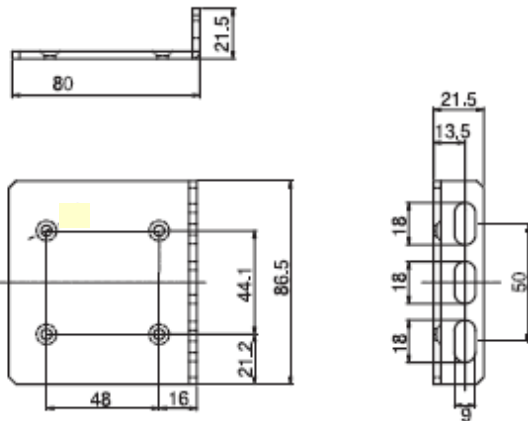


●BUM100R

<単位：mm/ 公差± 1mm >

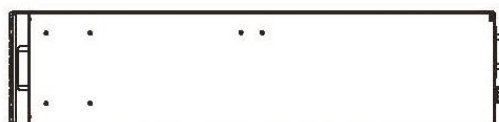
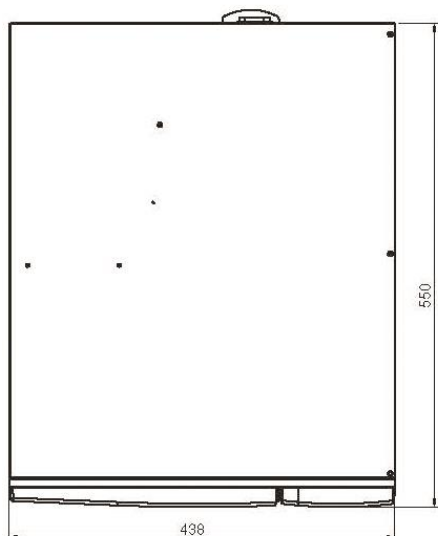


●耳金具

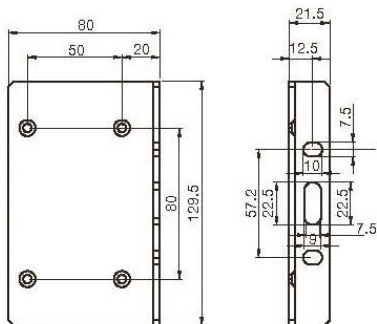


●BUM300R

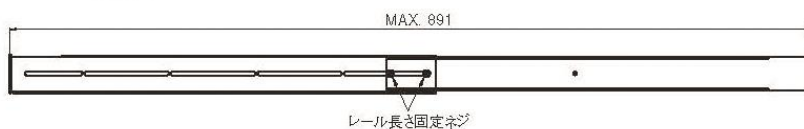
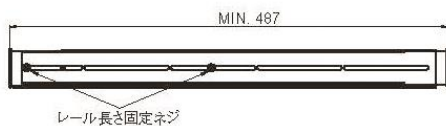
<単位：mm/ 公差± 1mm >



●耳金具



●サポートアングル



13. 付属品

1. BU75RW/BU100RW/BU200RW/BU300RW本体

(1) 本体関連

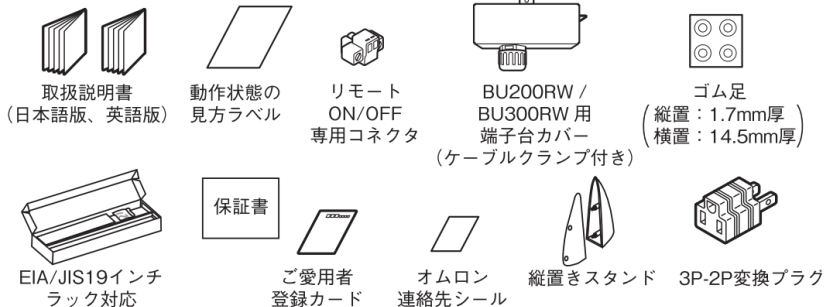
	BU75RW	BU100RW	BU200RW	BU300RW
取扱説明書(日本語・英語)	各1冊	各1冊	各1冊	各1冊
保証書	1枚	1枚	1枚	1枚
ご愛用者登録はがき	1枚	1枚	1枚	1枚
動作状態の見方ラベル	1枚	1枚	1枚	1枚
リモートON/OFF専用コネクタ	1個	1個	1個	1個
縦置きスタンド	2個1組	2個1組	2個1組	2個1組
EIA/JIS19インチラック対応サポートアングル	1セット	1セット	1セット	1セット
オムロン連絡先シール	1枚	1枚	1枚	1枚
バッテリー交換日シール	1枚	1枚	1枚	1枚
操作パネル英文版ラベル	1枚	1枚	1枚	1枚
横置きゴム足(14.5mm厚)	4個1組	4個1組	4個1組	4個1組
縦置きゴム足(1.7mm厚)	6個1組	6個1組	6個1組	6個1組
3P-2P変換プラグ	1個	1個	1個	—
端子台カバー(ケーブルクランプ付き)	—	—	1個	1個

(2) 自動

シャットダウン
ソフト関連

	BU75RW	BU100RW	BU200RW	BU300RW
接続ケーブル(RS232C)	1本	1本	1本	1本
接続ケーブル(USB)	1本	1本	1本	1本

<本体関連>



*1 本機をUL適合品としてご使用される場合は、3P-2Pプラグは使用しないでください。

<自動シャットダウンソフト>

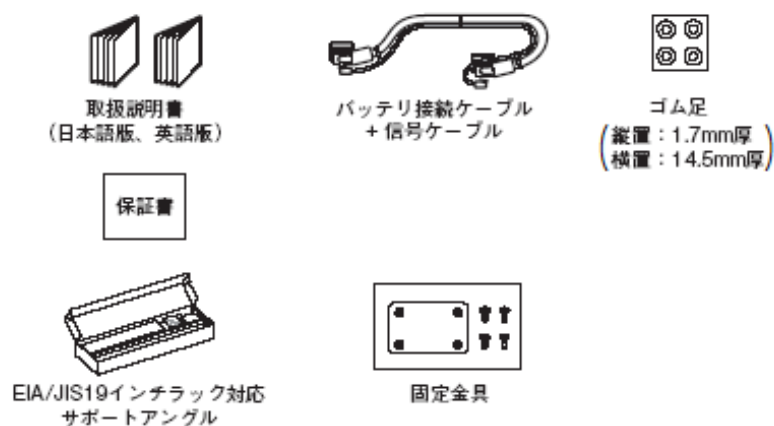


自動シャットダウンソフトウェアは、当社ホームページからソフトウェアをダウンロード頂く方法に変更いたしております。自動シャットダウンソフトウェアのCD-ROMは、同梱されておりません。

当社ホームページ：<https://www.oss.omron.co.jp/ups/support/download/ups.html>

2. 増設バッテリーユニットBUM100R/BUM300R

1. 取扱説明書（日本語版、英語版）.....1冊
2. バッテリー接続ケーブル+信号ケーブル.....1組
3. 保証書.....1枚
4. バッテリー使用開始日ラベル.....1枚
5. EIA/JIS19 インチラック対応サポートアングル・取付金具.....1セット
6. 固定金具.....1セット
7. 横置きゴム足 (14.5mm 厚).....4個
8. 縦置きゴム足 (1.7mm 厚).....4個



3. オプション品一覧

内容	BU75RW	BU100RW	BU200RW	BU300RW
交換用バッテリーパック	BUB100R	BUB100R	BUB300R	BUB300R
増設用バッテリーユニット	BUM100R	BUM100R	BUM300R	BUM300R
交換用ファン(前面用)	-	-	BUF300FF	BUF300FF
交換用ファン(背面用)	BUF100R	BUF100R	BUF300RF	BUF300RF
SNMP/Webカード	SC20G	SC20G	SC20G	SC20G
WindowsのUPSサービス用接続ケーブル※	BUC26	BUC26	BUC26	BUC26
Apple社製 XserveRAID用接続ケーブル※	BUC28	BUC28	BUC28	BUC28
取付金具	BUP300R	BUP300R	BUP300R	BUP300R

1 4. 保証契約約款

はじめに

保証契約約款(以下「本約款」)は、取扱い説明書にしたがった正常な使用をしていたにもかかわらず、「保証書」に記載した保証期間内において、製品(付属品等を除く)が故障した場合、本約款に明示した期間、条件の下において、「無償修理」を行うことをお約束するものです。

第1条 定義

本約款で使われる用語の定義は次の各号の通りとします。

- ①「保証書」とは製品名(商品名)や保証期間を予め記入した上で当社が無償修理を保証する旨を約したものを言います。
- ②「製品」とは当社製品として梱包されたもので本体部分(ACアダプタを含む)をいい、付属品等は除きます。
- ③「故障」とはおお客様が取扱説明書、本体貼付ラベル等の記載事項に従った正常な使用状態で正常に機能しない状態をいいます。
- ④「無償修理」とは製品が保証期間内に故障した場合、当社が無償にて行う故障個所の修理をいいます。
- ⑤「有償修理」とは製品が保証期間外に故障した場合、お客様に費用を負担していただいて当社が行う故障個所の修理をいいます。

第2条 保証期間

保証期間は、購入日より製品に同梱されている保証書に記載されている期日までとします。ただし、購入日及び販売店の署名または押印等が記載されていることを条件とします。

第3条 保証の範囲

- 3-1 保証の範囲は、本製品の修理、交換、または同等機能の製品との代替交換に限ります。
- 3-2 当社の保証範囲は前記(3-1)記載をもって全てとし、故障によってお客様に生じた損害(事業利益の損失、業中断、情報の損失またはその他の金銭的損害を含むが、これらに限定されない)については、法律上の請求原因の種類を問わず、いかなる場合においても当社は一切の責任を負わないものといたします。

第4条 修理

- 4-1 製品に故障が生じた場合、お客様が当該製品を当社指定の修理受付窓口へ送付することにより、当社が修理を行い、修理完了後にお客様の指定する場所(日本国内に限る)へ発送するものとします。なお、送料は、無償及び有償修理ともお客様から送付いただく場合はお客様のご負担(元払い)となります。修理後の送料は当社にて負担いたします。
- 4-2 当社は、本製品の修理に代えて当社の判断にて、本製品と同機種種の交換または同等機能の製品との代替交換を行うことができるものとします。
- 4-3 当社は本製品の修理を実施するにあたり、パーツ交換(ボード、モジュールを含む)によって修理を行うことができるものとし、交換された旧パーツは当社の新パーツはお客株所有の財産となります。なお、パーツ交換に代えて同機種または同等機能製品と交換した場合も交換対象の製品は当社の、代替製品はお客様の所有の財産となります。

第5条 保証の不適用

保証期間内であっても、以下の場合は無償修理の対象外とさせていただきます。

- 5-1 使用上の誤り、及び当社の事前承諾なしになされた修理、改造や付加による故障、及び損傷。
- 5-2 お買い上げ後の落下、取扱いの不注意などによる故障及び損傷。
- 5-3 火災・地震・風水害・落雷及びその他の天災地変、公害、塩害、及び通常基準を超える異常な物理的もしくは電気的負荷が加えられたことによる故障及び損傷。
- 5-4 修理依頼の際、保証書のご提示をいただけない場合。及び以下の各号に該当する場合。
 - ①保証書の有効期限が終了している場合。
 - ②保証対象物件の形式・製造番号が修理を行う物件のそれと一致しない場合。
 - ③保証書の内容を明らかに改ざんしたと思われる場合。
 - ④保証書に、所定記入事項(お買い上げ年月日、お客様名、販売店名)の記入のない場合、あるいは字句を不当に書き換えられた場合。

5-5 消耗部品(バッテリー含む)、自然劣化により故障したもの。ただし、個別に保証契約を締結するか、または個別に保証の範囲を定めている場合はその個別の契約または定めに従うものとする。

5-6 故障の原因が本製品以外に起因する場合。

第6条 準拠法

本約款の解釈は日本国の法令が適用されるものとします。

第7条 裁判管轄

本約款に関する訴訟の第一審合意管轄裁判所は東京地方裁判所とします。

第8条 有効範囲



本約款は、使用可能国にて発生した故障の場合のみ有効とします。

15. 安全上のご注意



安全上のご注意



安全に使用していただくために重要なことがらが書かれています。
設置やご使用開始の前に必ずお読みください。

- この取扱説明書の安全についての記号と意味は以下の通りです。

 危険	誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示します。
 注意	誤った取り扱いをすると、人が障害を負ったり、物的損害の発生が想定される内容を示します。


※物的損害とは、家屋・家財および家畜、ペットに係わる拡大損害を示します。

 : 禁止 (してはいけないこと) を示します。例えば  は分解禁止を意味しています。

 : 強制 (必ずしなければならないこと) を示します。例えば  はアースの接続が必要であることを意味します。

なお、注意に記載した事項でも状況によっては重大な結果に結びつく可能性もあります。
いずれも重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。


危険 (製品の用途)

本機を、下記のような極めて高い信頼性や安全性が求められる用途に使用しないこと。 


※本機は、パソコンなどのFA、OA機器に使用することを目的に設計・製造されています。

- 人命に直接関わる医療機器やシステム。
- 人身の安全に直接関連する用途。(例: 車両・エレベータなどの運行、運転、制御など)
- 故障すると社会的、公共的に重大な損害を与える可能性のある用途。(例: 主要なコンピュータシステム、幹線通信機器など)
- 上記に準ずる用途。

注意 (設置・接続時)

運搬、取り出し、設置の作業は2名以上で行うこと。 


- けが、落下、転倒などの危険があります。

重量・バランスに注意して運搬し、安定のよい頑丈な場所に置いて使用すること。 


- 転倒や落下するとけがをすることがあります。
- 本機の質量は、BU75RW, BU100RW: 約20kg、BU200RW, BU300RW: 約33kgです。
- 落下させた場合はすぐに本機の使用を中止し、点検、修理を依頼してください。
修理についてはオムロン電子機器修理センタへご相談ください。

梱包のポリ袋は幼児の手の届かない場所に移すこと。 

- 小さいお子様がかぶったりすると、呼吸を妨げる危険性があります。

本機の「AC入力」は必ず定格入力電圧 (AC100 ~ 120V)、周波数50/60Hzの商用電源に接続すること。 

- 電圧、周波数の違う商用電源に接続すると、火災を起こすことがあります。
- 本機が故障することがあります。

異常 (異音・異臭) 時は本機の「電源」スイッチを切って出力を停止し、「商用電源」の供給を止めること。 

(BU75RW/BU100RWの場合はAC入力プラグを電源コンセントから抜くこと。
BU200RW/BU300RWの場合はAC入力プラグを電源コンセントから抜くか、
背面の入力過電流保護スイッチ「INPUT PROTECTION」をOFFにすること。)

- 接続機器の保守時なども、安全のため上記に準じて実施してください。

安全上のご注意

⚠ 注意(設置・接続時)

ドライヤー、一部の電磁弁など、交流電源の半サイクルのみで電流が流れる半波整流機器を接続しないこと。



- 過電流により、無停電電源装置が故障することがあります。

BU75RWは10A以上、BU100RWは12A以上、BU200RWは24A以上、BU300RWは35A以上の電流容量のある商用電源に接続すること。



- 電源配線が発熱することがあります。
- 出力容量最大限の機器を接続した場合、最大でBU75RWは10A、BU100RWは12A、BU200RWは24A、BU300RWは35Aの入力電流が流れます。

BU200RWで出荷時接続されている15A用プラグ(NEMA 5-15P)を使用される場合、出力に接続できる最大容量は約1100VA/880Wまでです。



- 上記を超える消費電力でのご使用は入力電流が15A以上となり、発熱、火災などの危険があります。
- 「オーバーロード」の表示が出る場合は20Aプラグもしくは30Aプラグに交換するか、24A以上の配電盤へ接続してください。

BU300RWで出荷時接続されている30A用プラグ(NEMA L5-30P)を使用される場合、出力に接続できる最大容量は約2400VA/1920Wまでです。



- 上記を超える消費電力でのご使用は入力電流が30A以上となり、発熱、火災などの危険があります。
- 「オーバーロード」の表示が出る場合は35A以上の配電盤へ接続してください。

BU200RW、BU300RWで入力ケーブル変更時は必ず指定通りの接続をすること。AC入力端子と線の色を間違えないこと。



商用電源に接続されている状態で、本機のAC入力端子の接続作業を行わないこと。

- 16ページ「24 AC入力」の接続をご参照ください。
- 感電、漏電の危険があります。

アース接続(接地)を確実に実施すること。



- 電源コンセントのプラグの形状を確認の上、本機の「AC入力」プラグをそのまま差し込んでください。アース接続を実施しないと、故障や漏電があった場合に感電することがあります。

分解、修理、改造をしないこと。



- 感電したり、火災を起こす危険があります。

指定外の方向で設置しないこと。



- 転倒や落下するとけがをすることがあります。
- 指定方向以外で設置されると、バッテリーが液漏れしたときの保護ができません。
- 縦置き時は同梱の縦置きスタンドを使用してください。

最高気温が40℃を超える場所で使用しないこと。



- バッテリーが急速に劣化します。
- 本機が故障したり、誤動作を起こすことがあります。

使用保管環境は仕様範囲を超えないこと。



次のような場所で設置や保管をしないこと。

- 湿度が10%よりも低い／湿度が90%よりも高い場所に保管しないこと。
- 周囲温度が0℃よりも低い／周囲温度が40℃よりも高い場所で使用しないこと。
- 湿度が25%よりも低い／湿度が85%よりも高い場所で使用しないこと。
- 隙間のないキャビネットなど密閉した場所／可燃性ガスや腐食性ガスがある場所、極端に埃の多い場所、直射日光が当たる場所、振動や衝撃が加わる場所、屋外など。
- 火災などの原因になることがあります。

⚠ 注意 (設置・接続時)

本機出力容量を超える機器を接続しないこと。

テーブルタップなどで接続機器の増設を行えますが、この場合はテーブルタップなどの電流容量を超える機器を接続しないこと。

- 本機がオーバーロードを検出し、出力を停止します。
- テーブルタップの配線が発熱し、火災を起こすことがあります。

ケーブルをはさんだり、無理に折り曲げて使用しないこと。

束ねた状態で使用しないこと。

- ケーブルの損傷や発熱により、感電したり、火災を起こす危険があります。
- ケーブルに傷のある場合はすぐに本機の使用を中止し、修理を依頼してください。
- 修理についてはオムロン周辺機器修理センタへご相談ください。

同梱されている全ての付属品は、本機を使用する場合に限り使用できるものです。他の機器には使用しないでください。

- 機器を安全にご使用いただくために必ずお守りください。

吸排気口は塞がないこと。(前面および背面)

- 内部温度が上昇し、本機の故障、バッテリー劣化の原因となります。
- 壁から5cm以上離して設置してください。

変圧トランス、絶縁トランスなどを単体で出力側に接続しないこと。

- 過電流により無停電電源装置(UPS)が故障または動作異常となることがあります。
- 入力側に接続する場合には問題ありません。

商用電源にて使用できない機器は接続しないこと。

- 本機は「電源」スイッチ投入時および機器に異常が発生した時は、バイパス運転を行い、商用電源がそのまま接続機器に供給されます。

ラックに設置する場合は、ラックの最下段に本製品を設置すること。

- 落下するとけがをすることがあります。

取り付けネジは必ず付属のものを使用すること。

- ケース取り付けに付属品以外の長いネジを使用すると、内部を損傷することがあります。
- 付属品以外のネジを使用すると強度不足により、落下事故などの原因になる恐れがあります。

⚠ 注意(使用時)

変な音や臭いがした、煙が出た、内部から液体が漏れた時は、本機の「電源」スイッチを切って出力を停止し、「商用電源」の供給を止めること。



(BU75RW/BU100RWの場合はAC入力プラグを電源コンセントから抜くこと。
BU200RW/BU300RWの場合はAC入力プラグを電源コンセントから抜くか、背面の入力過電流保護スイッチ「INPUT PROTECTION」をOFFにすること。)

- このような状態で使用すると火災を起こすことがあります。
- このような状態になったら必ず使用を中止し、お買い求めの販売店かオムロン電子機器修理センタに点検・修理を依頼してください。
- 使用時は異常発生時にすぐに「AC入力」プラグを電源コンセント（商用電源）から抜ける状態または、BU200RW/BU300RWの場合は背面の入力過電流保護スイッチ「INPUT PROTECTION」をOFFにできる状態にしておいてください。

内部から液体が漏れたら、液体にさわらないこと。



- 失明したり、やけどをする危険があります。
- 目や皮膚に付いてしまったら、すぐに大量のきれいな水で洗い流し、医師の診療を受けてください。

上に25kg以上のものを乗せたり、重量物を落下させないこと。



- ケースのゆがみや破損、内部回路の故障により火災を起こすことがあります。

本機は内部の制御回路機能が故障あるいは誤動作により停止した場合でも、接続機器へ電力を供給できるバイパス出力回路を装備しています。



- 前面パネルの表示がすべて消えていても出力は継続します。
- 前面の電源スイッチでの出力のON/OFF操作はできなくなります。
出力を停止したい場合は、商用電源の供給元を停止するか、AC入力プラグを電源コンセントから抜く、またはBU200RW/BU300RWの場合は本機背面の入力過電流保護スイッチ「INPUT PROTECTION」をOFFにしてください。

⚠ 注意(保守時)

接続機器の保守を行う場合は、本機の「電源」スイッチを切って出力を停止し、「商用電源」の供給を止めること。



(BU75RW/BU100RWの場合はAC入力プラグを電源コンセントから抜くこと。
BU200RW/BU300RWの場合はAC入力プラグを電源コンセントから抜くか、背面の入力過電流保護スイッチ「INPUT PROTECTION」をOFFにした状態で行うこと。)

- 本機の電源出力は、無停電電源装置（UPS）が運転状態のとき商用電源を停止しても出力は停止せず、コンセントから電力が供給されます。

分解、修理、改造しないこと。



- 感電したり、火災を起こす危険があります。

内部から液体が漏れたら、液体にさわらないこと。



- 失明したり、やけどをする危険があります。
- 目や皮膚に付いてしまったら、すぐに大量のきれいな水で洗い流し、医師の診療を受けてください。

本機を火の中に投棄しないこと。



- 鉛バッテリーを内蔵していますので、バッテリーが爆発したり、希硫酸が漏れたりすることがあります。

無停電電源装置(UPS)の「電源出力」コンセントに金属物を挿入しないこと。



- 感電する恐れがあります。

バッテリー接続コネクタ、増設コネクタに金属物を挿入しないこと。



コネクタの端子間をショートしないこと。

- 感電する恐れがあります。

⚠ 注意(バッテリー交換時)

交換作業は安定した、平らな場所で行うこと。

- バッテリーは落下しないよう、しっかりと保持してください。
- 落下によるけが、液漏れ(酸)によるやけどなどの危険があります。



指定以外の交換バッテリーは使用しないこと。

- 火災の原因となることがあります。
- 商品型式： BU75RW/BU100RW 交換用バッテリーパック：BUB100R
BU200RW/BU300RW 交換用バッテリーパック：BUB300R



可燃性ガスがある場所でバッテリー交換をしないこと。

- バッテリーを接続する際、火花が飛び、爆発・火災の原因になる恐れがあります。



バッテリーから液漏れがあるときは液体(希硫酸)に触らないこと。

- 失明したり、やけどをする危険があります。
- 目や皮膚に付いてしまったら、すぐに大量のきれいな水で洗い流し、医師の診療を受けてください。



バッテリーの分解、改造をしないこと。

- 希硫酸が漏れ、触ると失明、やけどなどの恐れがあります。



バッテリーを落下させたり、強い衝撃をあたえないこと。

- 希硫酸が漏れたりすることがあります。



バッテリーを金属物でショートさせないこと。

- 感電、発火、やけどの恐れがあります。
- 使用済みバッテリーでも内部に電気エネルギーが残っています。



バッテリーを火の中に投げ入れたり、破壊したりしないこと。

- バッテリーが爆発したり、希硫酸が漏れたりすることがあります。



新しいバッテリーと古いバッテリーを同時に使用しないこと。

- 希硫酸が漏れたりすることがあります。



安全上のご注意

お願い

寒い場所から暖かい所へ移動された直後は、数時間放置してから使用開始してください。

- 急に暖かい所へ移動すると水分が付着し(結露)、そのまま通電すると故障することがあります。

購入されましたら、早目に充電(8時間以上)してください。

- ご購入後長期間使用しないでいると、バッテリーの特性が劣化し、使用できなくなることがあります。
- BU75RW/BU100RWの場合：本機「AC入力」プラグを商用電源に接続、BU200RW/BU300RWの場合：本機「AC入力」プラグを商用電源に接続し背面の入力過電流保護スイッチ「INPUT PROTECTION」をONにすることでバッテリーを充電できます。
- 増設バッテリーを接続している場合は24時間以上充電を行ってください。

本機を保管される場合は8時間以上充電し、「電源」スイッチを切ってください。

保管温度25℃以下の場合6ヵ月以内、保管温度40℃以下の場合2ヵ月以内に再充電してください。

- バッテリーは使用しない場合でも自己放電し、長期間放置しますと過放電状態となります。バックアップ時間が短くなったり、使用できなくなることがあります。
- 長期間保管される場合は25℃以下の環境を推奨します。
- 保管中は本機の「電源」スイッチを切ってください。
- 増設バッテリーを保管する場合は24時間以上充電してから保管してください。

本機の出カライン間のショート(短絡)、および出カラインをアースにショート(地絡)しないように注意してください。

- 本機が故障することがあります。

バックアップ運転中に本機の「AC入力」プラグを本機の「電源出力」コンセントに差し込まないでください。

- 本機が故障することがあります。

ページプリンタ(レーザプリンタなど)を本機に接続しないでください。

- 商用運転時に、接続容量オーバーを頻繁に繰り返し、入力電源をそのまま出力する状態(バイパス運転)となる可能性があります。
- ページプリンタはピーク時の電流が大きく、接続容量オーバーを検知することがあります。

本機を自家発電装置などの電源周波数が大きく変動する機器と組み合わせて使用する場合は、必ず事前に動作確認を行ってからご使用ください。

- 本機は入力電源が供給された時に入力電源周波数を自動認識しています。入力電源周波数が規定値でない状態で本機を接続すると、電源周波数の誤認識を起し正常に動作しない場合があります。(本機が起動している状態で商用電源から発電装置などの電源に切り替わる場合には、問題ありません。ただし、発電機の周波数は商用電源と一致させてください。)

本機を直射日光の当る場所に設置あるいは保管しないでください。

- 温度上昇により内蔵バッテリーが急速に劣化し、使用できなくなることがあります。

耐電圧試験・絶縁抵抗試験をするときは、背面の「入力サージ保護 GND」のネジをはずして実施すること。

使用中は必ず「入力サージ保護 GND」のネジを取り付けてしっかり締めること。

- 電源入力線にサージ吸収素子が入っており、アース線を接続したまま耐電圧試験をされると吸収素子が破壊されます。

商用電源を切る前に、本機の「電源」スイッチを切ってください。

- 商用電源を停止すると、バックアップ運転になります。バックアップ運転の頻度が高くなるとバッテリー寿命が著しく短くなる場合があります。

本機とコイル、モータなどの誘導性の機器に使用する時は、必ず事前に確認動作を行ってからご使用ください。

- 機器の種類によっては、突入電流などの影響で本機が正常に動作しない場合があります。

お願い

本機を第三者に譲渡・売却する場合は、本機に添付されている書類など全てのものを本機に添付のうえ譲渡してください。本機は添付書類など記載の条件に従うものとさせていただきます。

- 本説明書には、安全に関わる内容などが記載されています。内容をご確認の上、ご使用ください。また、本説明書を紛失された場合は、販売店までご連絡ください。

●この製品には、鉛バッテリー(鉛蓄電池)を使用しています。

鉛バッテリーはリサイクル可能な貴重な資源です。リサイクルへご協力ください。
リサイクルについては、オムロン電子機器修理センタへご連絡ください。



データの保護やシステム冗長化など不測の事態への対処を行ってください。

- 無停電電源装置(UPS)は内部回路の故障により出力が停止する場合があります。

解説

日常の運用方法について

- 本機の「電源」スイッチは入れたまま(運転状態)でも、接続されているシステムの停止のたびに切ってもどちらでも問題ありません。お客様のご都合の良い方法で運用を行ってください。長期間接続機器を使用しないときは「電源」スイッチを切っておくことをお勧めします。
- BU75RW/BU100RWの場合: 本機「AC入力」プラグを商用電源に接続、BU200RW/BU300RWの場合: 本機「AC入力」プラグを接続し背面の入力過電流保護スイッチ「INPUT PROTECTION」をONにすることでバッテリーを充電できます。

バックアップ運転終了について

- 停電時間が長くなるとバッテリーが放電し、本機からの電源出力が停止します。本機が電源供給している間にパソコンを正しい手続きで終了(データをセーブするなどの処置)するようにしてください。

再起動について

- 停電中にバッテリーが放電してしまうと、出力を停止します。その後停電などの電源異常が回復すると、本機は自動的に再起動し、出力を開始します。接続機器を動作させたくないときは、本機の「電源」スイッチ、あるいは接続機器のスイッチを切っておいてください。

【参照】 設定スイッチ[2]で自動再起動させる/させないの選択でできます。

自動シャットダウンソフトによるスケジュール運転について

- 本機を停止すると同時に、ブレーカーなどを使用し商用電源を停止するスケジュール運転を行う場合、次の運転開始までの期間を3ヶ月以内に設定してください。3ヶ月を超える場合、内部のタイマーがリセットされ、スケジュールによる運転開始は行いません。
またこの期間はバッテリーが寿命になると約半分になります。
3ヶ月を超えた場合、商用電源を供給し、「運転」スイッチを押すことで運転を開始しますが、バッテリーが寿命となった場合、運転を開始できないことがあります。

16. 自動シャットダウン機能

1. 自動シャットダウンソフトの選択

型式	使用 OS	通信方式	シャットダウンソフト	必要な別売オプション
BU75RW BU100RW BU200RW BU300RW	Windows Vista	シリアル (RS232C 又はUSB1.1)	PowerAct Pro(注1)	-
	Windows server2003 x64 Edition Windows XP/2000 x64 Edition	シリアル (RS232C 又はUSB1.1)	PowerAct Pro(注1) UPSサービス(OS標準) + UPSサービスドライバ	-
		接点信号(注2)(注4)	UPSサービス(OS標準)	BUC26
		LAN	SNMP/Webカード用シャットダウンソフト	SC20G
	Windows server2003 Windows XP/2000	シリアル (RS232C 又はUSB1.1)	PowerAct Pro(注1) UPSサービス(OS標準) + UPSサービスドライバ	-
		接点信号(注2)(注4)	UPSサービス(OS標準)	BUC26
		LAN	SNMP/Webカード用シャットダウンソフト	SC20G
	Windows NT 4.0	接点信号(注2)(注3)	UPSサービス(OS標準)	BUC26
		LAN	SNMP/Webカード用シャットダウンソフト	SC20G
	Windows Me/98	シリアル (RS232C) 又はUSB1.1)	PowerAct Pro(注1)	-
	Linux (注2)	シリアル (RS232C 又はUSB1.1)	PowerAct Pro(注1)	-
		LAN	SNMP/Webカード用シャットダウンソフト	SC20G
	Mac OS X (10.3,10.4) Mac OS X Server(10.3, 10.4)	シリアル (USB1.1)	UPS Power Manager (注5)	-
		LAN	SNMP/Webカード用シャットダウンソフト	SC20G

注1 最新版は当社ホームページ(<https://www.oss.omron.co.jp/>)からダウンロードする事が可能です。

注2 ファイルの自動保存は出来ません。

注3 無停電電源装置(UPS)を自動停止させるには、パソコンのBIOS設定変更が必要な場合があります。
OSシャットダウン後パソコンの電源が切れてしまわないように、パソコンのBIOS設定をしてください。

注4 無停電電源装置(UPS)は、バッテリーがなくなった時に自動停止します。

注5 Power PC CPU搭載のMacintoshコンピュータにのみ対応しています。

●自動シャットダウンソフト機能一覧表

●標準対応 ○オプション対応 ▲一部制限あり

機能		ソフト名称	一般用途 (単機能、スタート70-)			ネットワーク管理用途 (高機能、ネットワーク対応)	SNMP管理用途 (高機能、ネットワーク対応)
			UPS+サービス トライバ*	OS標準 UPSサービス	UPS Power Manager (*5)	PowerAct Pro	SNMP/Webカード*
必要な別売オプション			—	接続ケーブル BUC26	—	—	SNMP/Webカード* SC20G
対応OS	Windows Vista	—	—	—	●	—	
	Windows Server 2003 x64 Edition	●	○	—	●	—	
	Windows XP x64 Edition	—	—	—	—	—	
	Windows Server 2003 Windows XP/2000	●	○	—	●	○	
	Windows NT4.0	—	○	—	—	○	
	Windows Me/98	—	—	—	●	○	
	Linux	—	—	—	●	○	
	Mac OS X v10.4/Server v10.4 Mac OS X v10.3/Server v10.3	—	—	●	—	○	
	ソフト 機能	自動シャットダウン	●	▲(*1)	●	●	○
UPSモニタリング(動作状態)		●	○	●	●	○	
UPSモニタリング(データ)		▲(*2)	—	●	●	○	
ポップアップ通知		●	○	●	●	○	
OSを休止状態で終了(*3)		●	—	—	●	—	
自動ファイル保存(*3)		●	—	—	●	—	
スケジュール運転		—	—	●	●	○	
UPSの設定変更		—	—	●	●	○	
外部コマンド実行		●	○	●	●	○	
イベントログ保存		—	—	●	●	○	
データログ保存		—	—	●	●	○	
連携シャットダウン		—	—	—	●	○	
出力コンセント制御		—	—	●	●	○	
冗長電源対応		—	—	—	●	—	
リモートでのUPS管理		—	—	—	●	○	
メール送信		—	—	—	●	○	
SNMP管理		—	—	—	—	○	
Telnet接続	—	—	—	—	○		
SYSLOG対応	—	—	—	●	○		

注1 最新情報は、当社ホームページをご覧ください。(https://www.oss.omron.co.jp/)

注2 ファイルの自動保存は出来ません。

注3 無停電電源装置(UPS)を自動停止させるには、パソコンのBIOS設定変更が必要な場合があります。

注4 OSシャットダウン後パソコンの電源が切れてしまわないように、パソコンのBIOS設定をしてください。

注5 無停電電源装置(UPS)は、バッテリーがなくなった時に自動停止します。

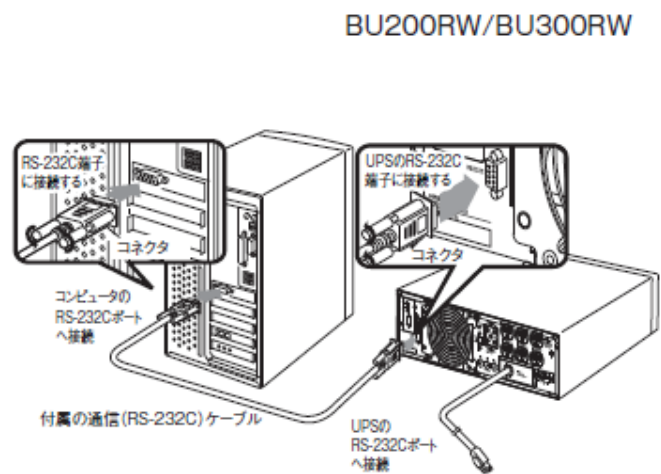
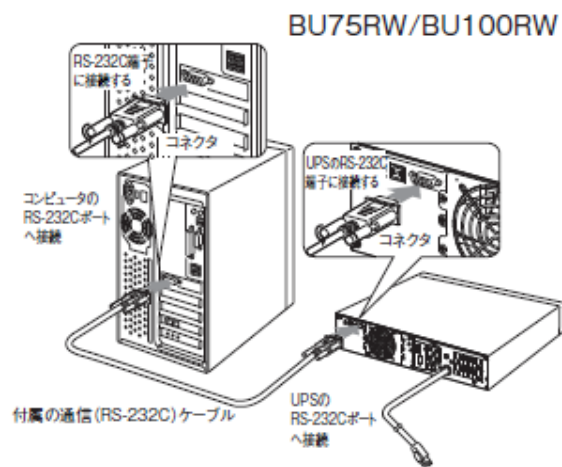
注6 Power PC CPU搭載のMacintoshコンピュータにのみ対応しています。

【ソフト機能の解説】

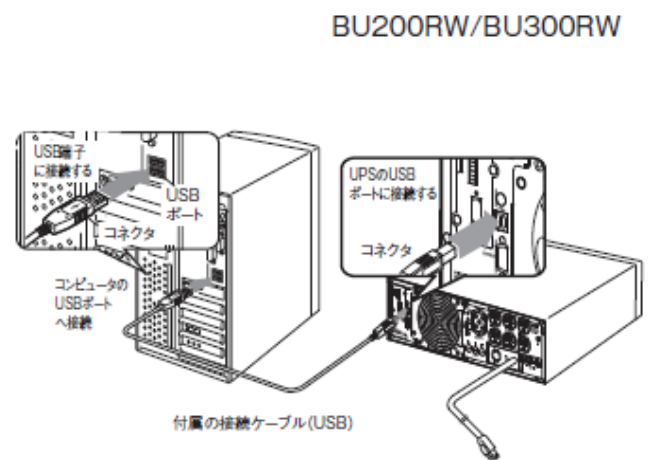
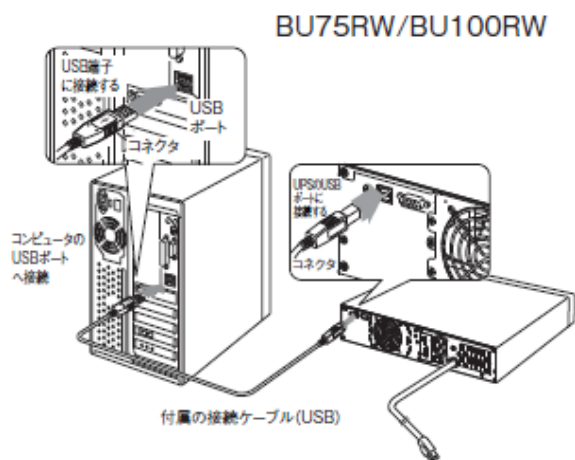
1 自動シャットダウン	電源異常発生時、コンピュータを自動シャットダウンできます。
2 UPSモニタリング(動作状態)	UPSの動作状態(商用運転中/バックアップ運転中)をモニタリングできます。
3 UPSモニタリング(データ)	入出力電圧値、接続容量、バッテリー容量などのデータをモニタリングできます。
4 ポップアップ通知	停電などの異常発生時、ポップアップウィンドウで異常内容を通知させることができます。
5 OSを休止状態で終了	コンピュータを休止状態で終了できます。休止状態では終了時の作業状態を保持するため、作業内容が失われません。
6 自動ファイル保存	シャットダウン時に作業中のワード、エクセルなどのファイルを自動保存します。
7 スケジュール運転	UPSの停止/起動をスケジュール設定できます。
8 UPSの設定変更	UPSの設定(ブザーON/OFF設定など)を変更することができます。(設定可能項目はUPSにより異なります)
9 外部コマンド実行	シャットダウン時に、コマンドを実行することで、アプリケーションプログラム等を起動させることができます。
10 イベントログ保存	UPSで発生したイベント情報(電源異常、設定変更、故障発生など)をログ保存します。
11 データログ保存	入出力電圧値、接続容量などのデータを一定間隔(設定可能)でログ保存します。
12 連携シャットダウン	電源異常発生時、UPSに接続された複数台のコンピュータを連携して自動シャットダウンできます。
13 出力コンセント制御	UPSの出力コンセントを個別にOFF/ONすることが可能。
14 冗長電源対応	冗長電源を搭載したコンピュータに2台以上のUPSを接続することができます。電源異常が片方だけの時はシャットダウンを行わず、両方のUPSで電源異常が発生した時のみシャットダウンさせるので、システムの稼働率を高めます。
15 リモートでのUPS管理	ネットワーク上のコンピュータからリモートでUPSを管理することができます。
16 メール送信	停電などの異常発生時、システム管理者にメールで異常内容を通知させることができます。
17 SNMP管理	UPSの管理情報をSNMPプロトコルで送信することができます。
18 Telnet接続	Telnet接続でシャットダウンパラメータなどの設定を行うことができます。
19 SYSLOG対応	UPSの管理情報をSYSLOGで記録することができます。

2. 接続方法

< RS-232C 接続 >

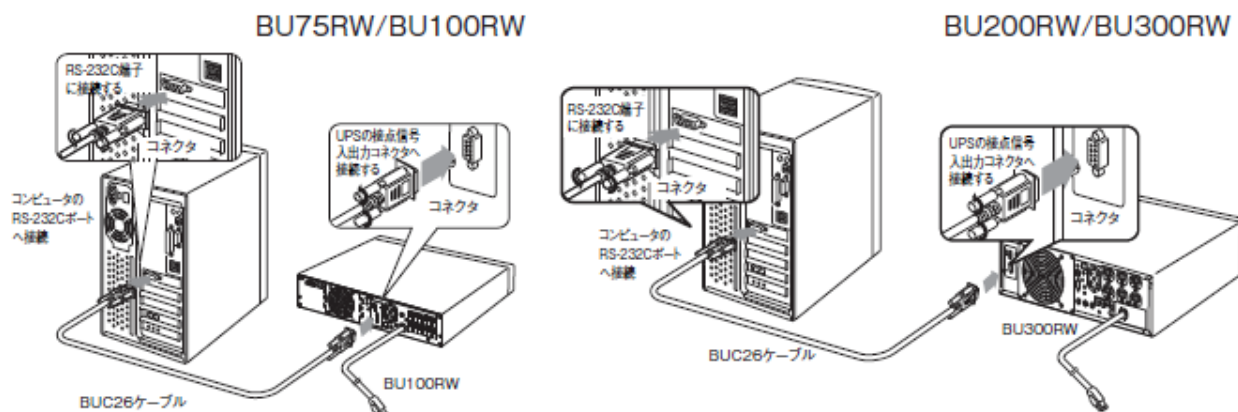


< USB 接続 >



<接点信号接続>

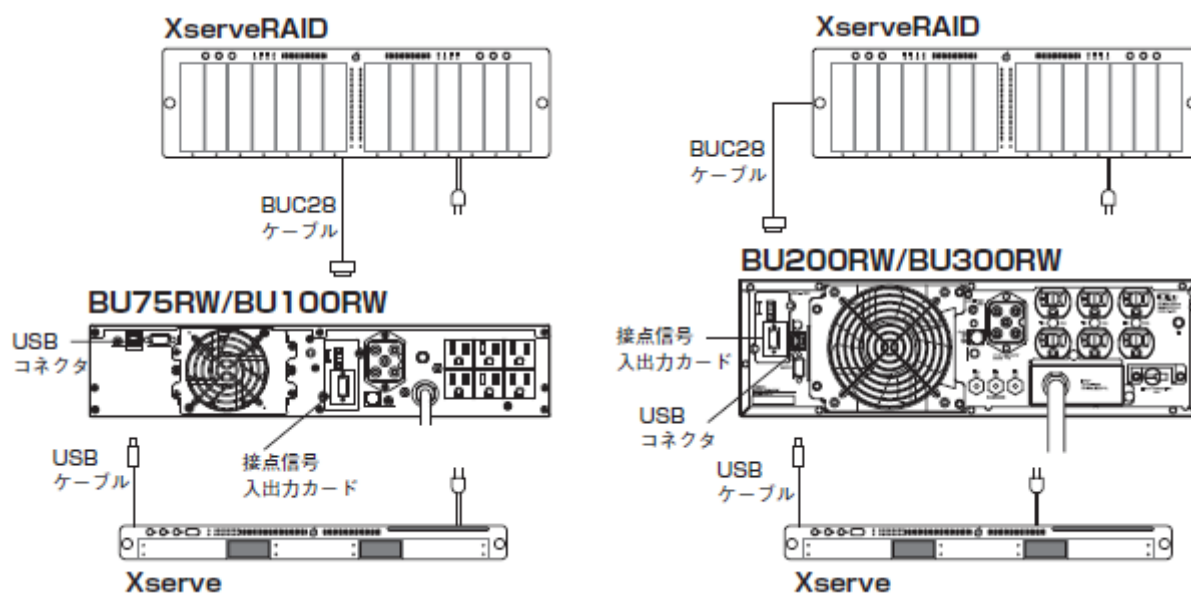
別売の接続ケーブル (BUC26) が必要です。



<XserveRAID との接続>

接点信号入出力カードの設定変更により Apple 社製 XserveRAID を制御することができます。

別売の接続ケーブル (BUC28) が必要です。



17. SNMP/Web カード

●概要(特長)

- UPSとネットワークの直接接続
SNMP/Webカード(SC20G)をUPSに挿入することによりLAN接続が可能となり、シリアルポートを搭載しないパソコンからでもUPSを管理できます。
- リモートでのUPS管理
市販のSNMPマネージャやWebブラウザを使って、ネットワークに接続されているパソコンからUPSを管理することができます。
- ネットワーク上のコンピュータからUPSおよびSNMP/Webカード(SC20G)の機能設定が可能
UPSおよびSNMP/Webカード(SC20G)のパラメータ設定は、SNMP管理ステーションのいずれか、あるいはインターネットブラウザ経由で行なうことができます(SNMPエージェントとしての機能はTelnetおよびシリアル接続で設定可能)
- セキュリティ機能を強化
HTTP、SNMPでの接続に対し、IPごとにアクセス制御をかけることができます。
- 連携シャットダウン
複数台のUPSを連携してシャットダウンすることができます。
- ログ機能
* UPSの電源状態、バッテリー状態などをカード内のフラッシュメモリに保存できます。
* SYSLOGに対応しています。
- 自動シャットダウン機能
電源異常時や事前に設定した時間のシャットダウンが自動的に実行されます。ネットワーク経由で、スケジュール運転(自動起動、自動停止)が可能です。
- UPSの標準MIB(RFC1628)および独自MIB(swc mib)を装備
- JAVAアプレットを使用し電源の状態をモニタ
グラフ表示によって、電源の状態をビジュアルで確認できます。

●仕様

LANポート	10/100Mビット
ネットワークプロトコル	SNMP、HTTP、APR、RARP、TFTP、ICMP
その他の通信経路	シリアル接続 非同期方式(設定のみ)
制御可能なコンピュータ数	最大32台(連携シャットダウン有効時はスレーブ無停電電源装置(UPS)も含む)
サポートMIB	UPSMIB (RFC1628) OMRON MIB
その他	リアルタイムクロック搭載
シャットダウンソフトウェアの対応OS	WindowsNT4.0, Windows2000, WindowsXP, Windows Server2003 RedhatLinux7.2/7.3/8.0 Red Hat Enterprise Linux AS/ES/WS (Redhat Linux Advanced Server2.1) Mac OS X v10.3 / Server 10.3 (注1) Mac OS X v10.4 / Server 10.4 (注1) PowerPC CPU搭載のMacintoshコンピュータのみ対応しています。 Solaris 10

詳細についてはSNMP/Webカードに付属の取扱説明書をご参照ください。
最新ファームは当社ホームページ (<https://www.oss.omron.co.jp/>) からダウンロードすることが可能です。
最新の仕様については当社ホームページ (<https://www.oss.omron.co.jp/>) をご確認ください。

18. バッテリーユニットの増設

別売の増設バッテリーユニットを接続することにより、バックアップ時間を延長することができます。

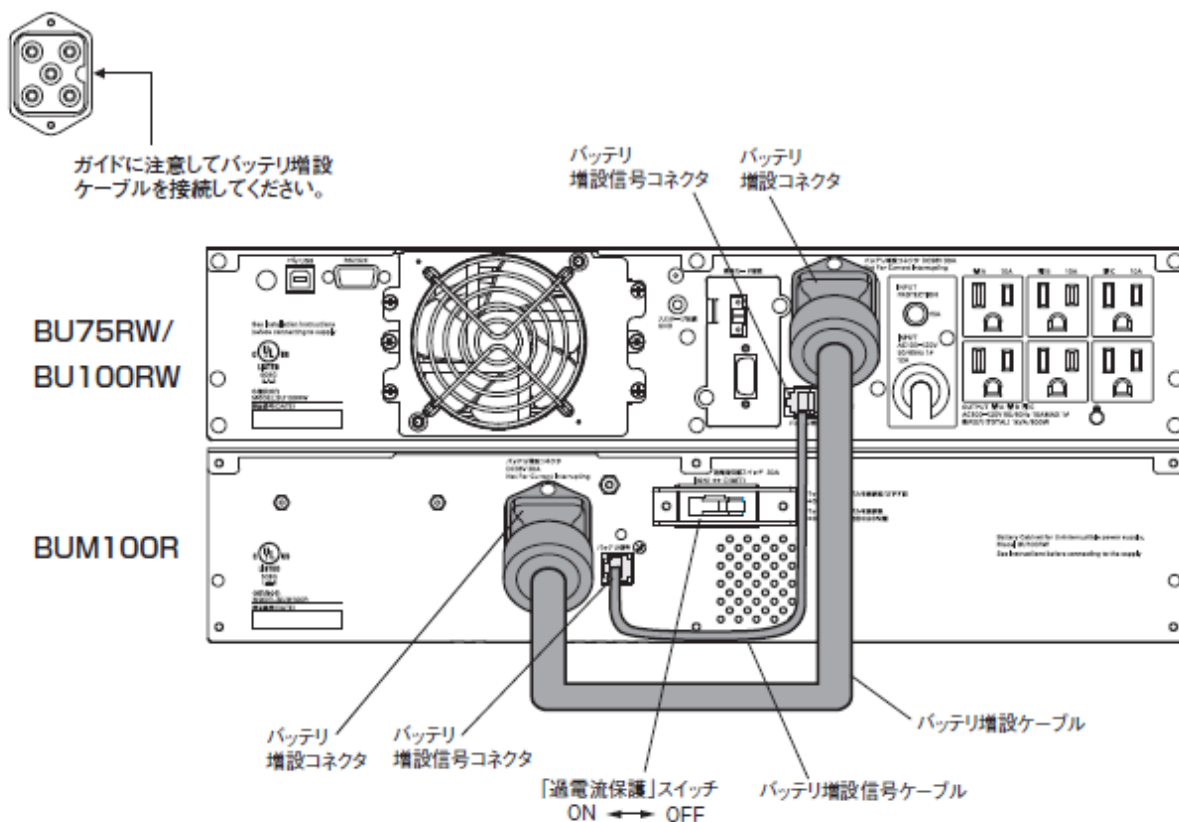
増設できるバッテリーユニットは1台のみです。

無停電電源装置 (UPS)	増設用バッテリーユニット
BU75RW	BUM100R
BU100RW	
BU200RW	BUM300R
BU300RW	

増設用バッテリーユニット接続時の充電時間は24時間です。

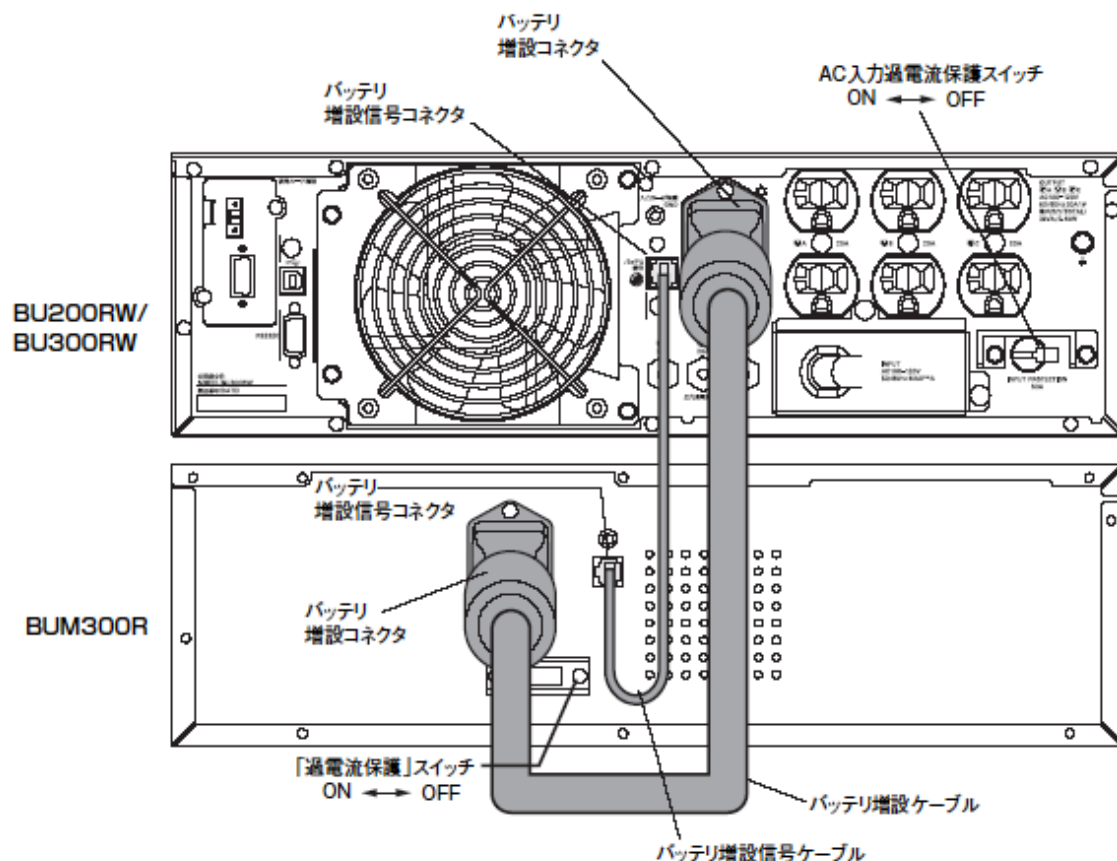
● BU75RW/BU100RWにBUM100Rを増設する

- (1) 本機の電源スイッチを切り、「AC入力」プラグを商用電源コンセントから抜きます。
 - (2) 本機とバッテリーユニット背面のコネクタにバッテリー増設ケーブルのコネクタを接続します。
バッテリー増設信号コネクタにもケーブルを接続してください。
 - (3) BUM100R(増設バッテリーユニット)背面の「過電流保護」スイッチをON側に倒します。
本機の「AC入力」プラグを商用電源コンセントに接続後、本機操作部の「バッテリー増設」ランプが点灯します。
- ※ BUM100Rを取り外す際には、まずバッテリー増設信号ケーブルを外してから、バッテリー増設ケーブルを外してください。



● BU200RW/BU300RWにBUM300Rを増設する

- (1) 本機の電源スイッチを切り、AC入力過電流保護スイッチ「INPUT PROTECTION」をOFFにします。
 - (2) 本機とバッテリーユニット背面のコネクタにケーブルのコネクタを接続します。
バッテリー増設信号コネクタにもケーブルを接続してください。
 - (3) バッテリーユニット背面の「過電流保護」スイッチをON側に倒します。
本機の「AC入力」プラグを電源コンセントに接続後、AC入力過電流保護スイッチ「INPUT PROTECTION」をONにすると、本機操作部の「バッテリー増設」ランプが点灯します。
- ※ BUM300Rを取り外す際は、まずバッテリー増設信号ケーブルを外してから、バッテリー増設ケーブルを外してください。



参照 バックアップ時間については「10項 バックアップ時間」を参照。